

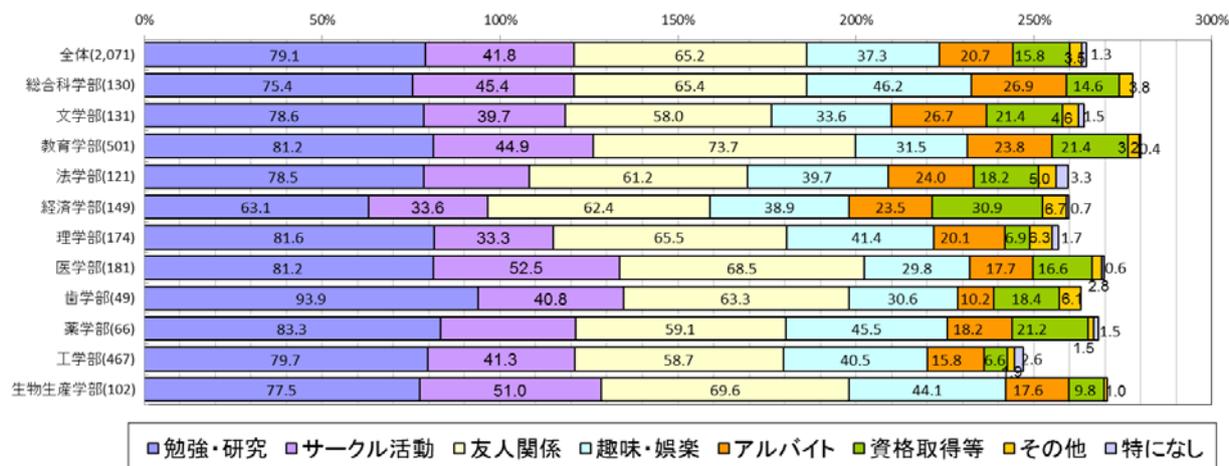
II 設問と回答分布

学 部

1 大学生生活において大切にしているもの

8個の選択肢のうち、全体では多かった項目として勉強・研究（79.1%）と友人関係（65.2%）であった。サークル活動（41.8%）、趣味・娯楽（37.3%）、アルバイト（20.7%）、資格取得等（15.8%）の項目を選択した学生は少なかった。これらの傾向は各学部とも同様であった。

問1 大学生生活において何を大切にしていますか。（複数回答可）

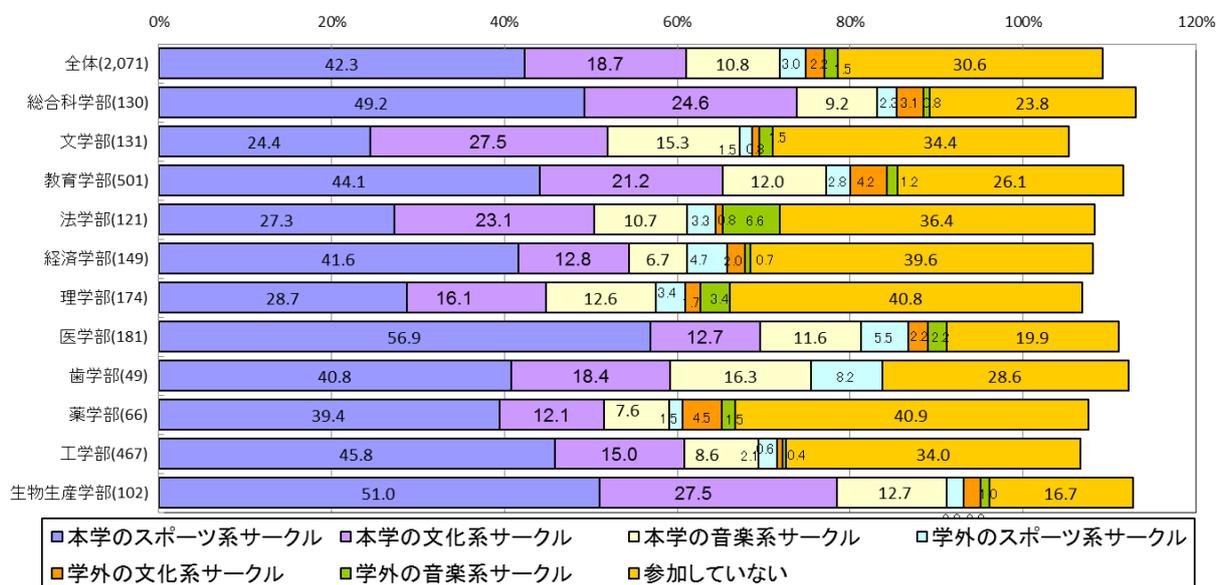


2 学内外のクラブ・サークル活動への参加

全体では、学内のスポーツ、文化、及び音楽系のクラブ・サークルに所属している学生は 71.8%と多く、学外のクラブ・サークルに所属している学生は 7%と少なかった。

学内及び学外の両方のクラブ・サークルに参加していない学生は 30.6%であり、前回の調査結果の 34%とほぼ同様の結果となった。また前回の調査結果では、夜間主コース、文学部、及び理学部のクラブ・サークル活動への参加が低かったが、今回の調査結果でも文学部、理学部、法学部の参加は他の学部 비해低い値であった。

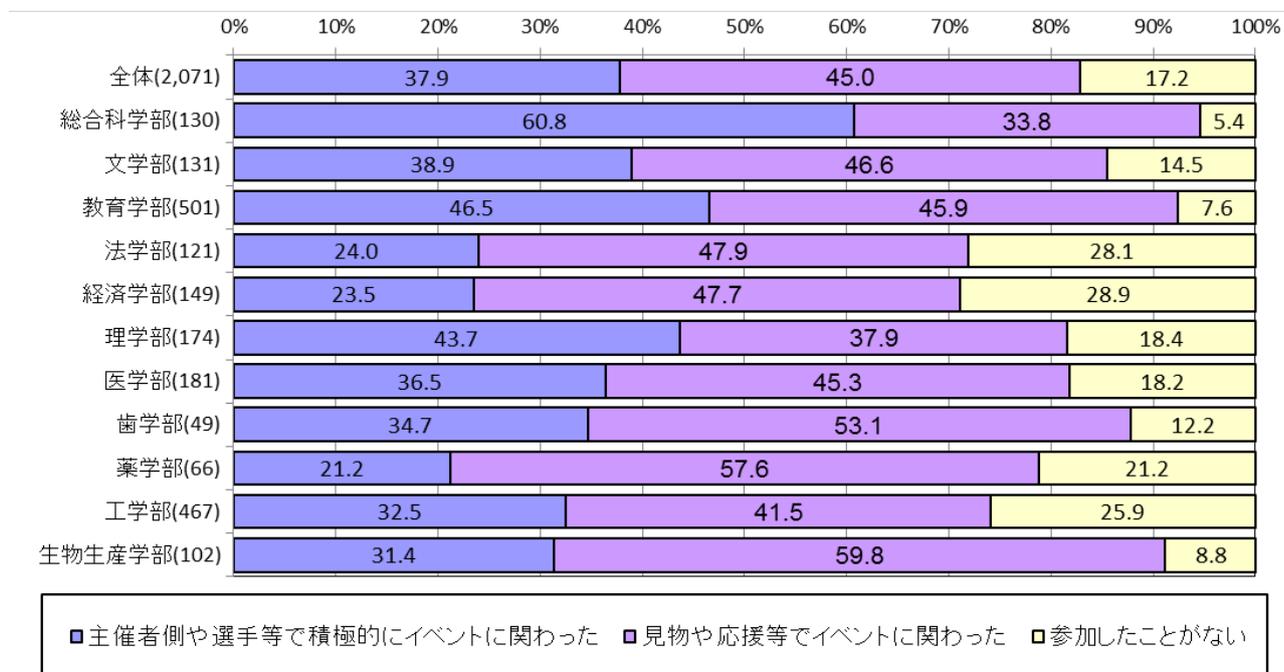
問2 学内外のクラブやサークル活動に参加していますか。（複数回答可）



3 大学の行事への参加

全体として、主催者や選手等でイベントに積極的に関わった学生は 38%、見物や応援等でイベントに参加した学生は 45%と、8 割以上の学生が大学行事に関わっていた。これらのことは、学生の大学行事への関心が高いことを示している。特に、総合科学部、教育学部、及び生物生産学部では、9 割以上の学生が高い関心を示していた。

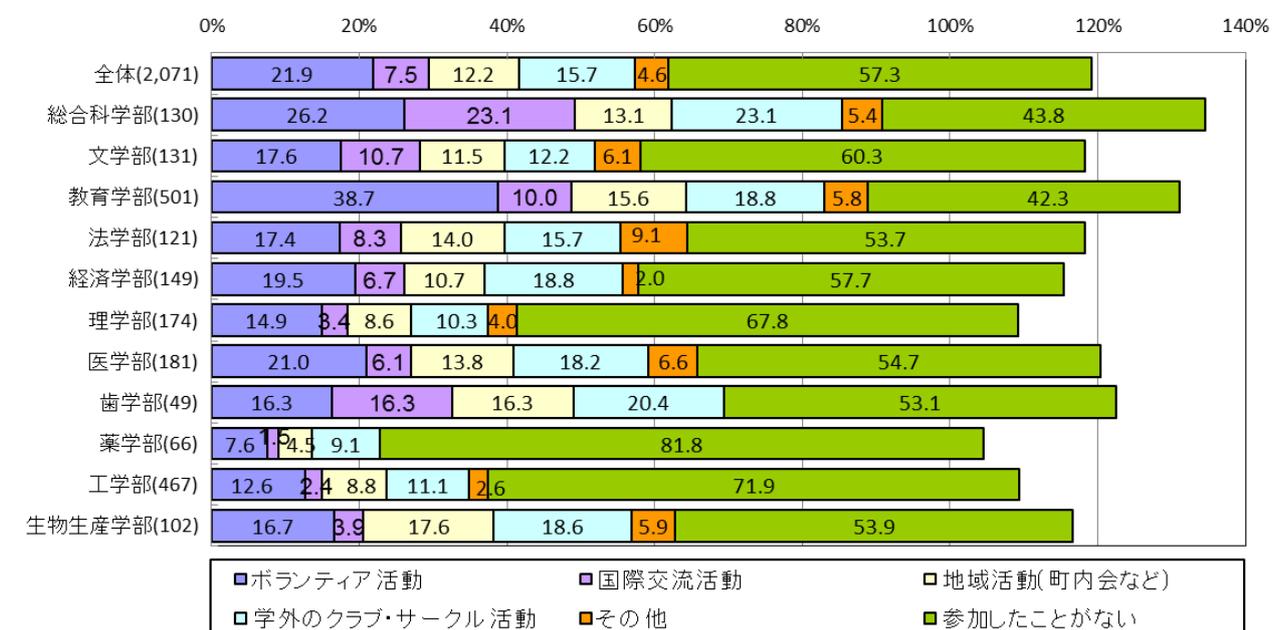
問3 大学祭、ゆかた祭、フェニックス駅伝などの大学の行事に参加したことがありますか。



4 ボランティアや地域活動への参加

全体として、ほぼ半数が何らかの活動に参加した経験を持っていた。このことは前回の調査結果とほぼ同様であった。中でも多かった項目として、ボランティア活動 (21.9%)、次いで学外のクラブ・サークル活動 (15.7%)、地域活動 (12.2%) の順となっていた。特にボランティア活動は、教育学部の参加が高かった。

問4 ボランティア活動や地域の活動に参加したことがありますか。(複数回答可)

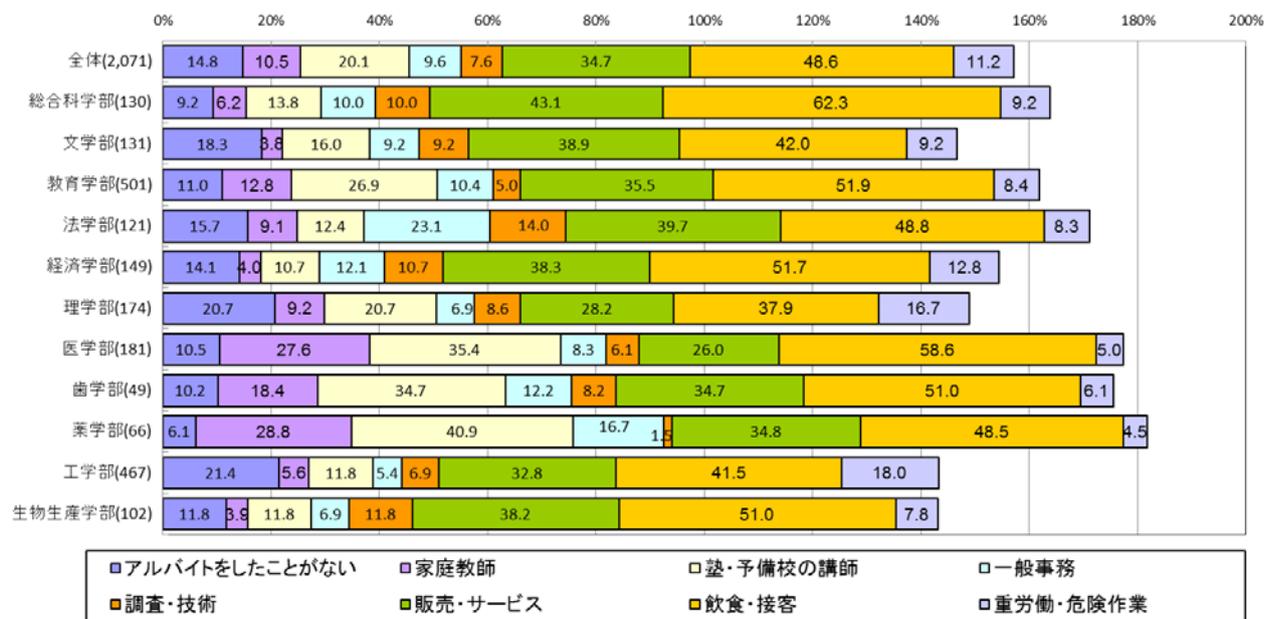


5 アルバイト

5-1 アルバイトの経験

全体では8割以上の学生がアルバイトを経験していた。その職種として、飲食・接客（48.6%）、販売・サービス業（34.7%）が多く、塾・予備校の講師（20.1%）や家庭教師（10.5%）の経験は少なかった。

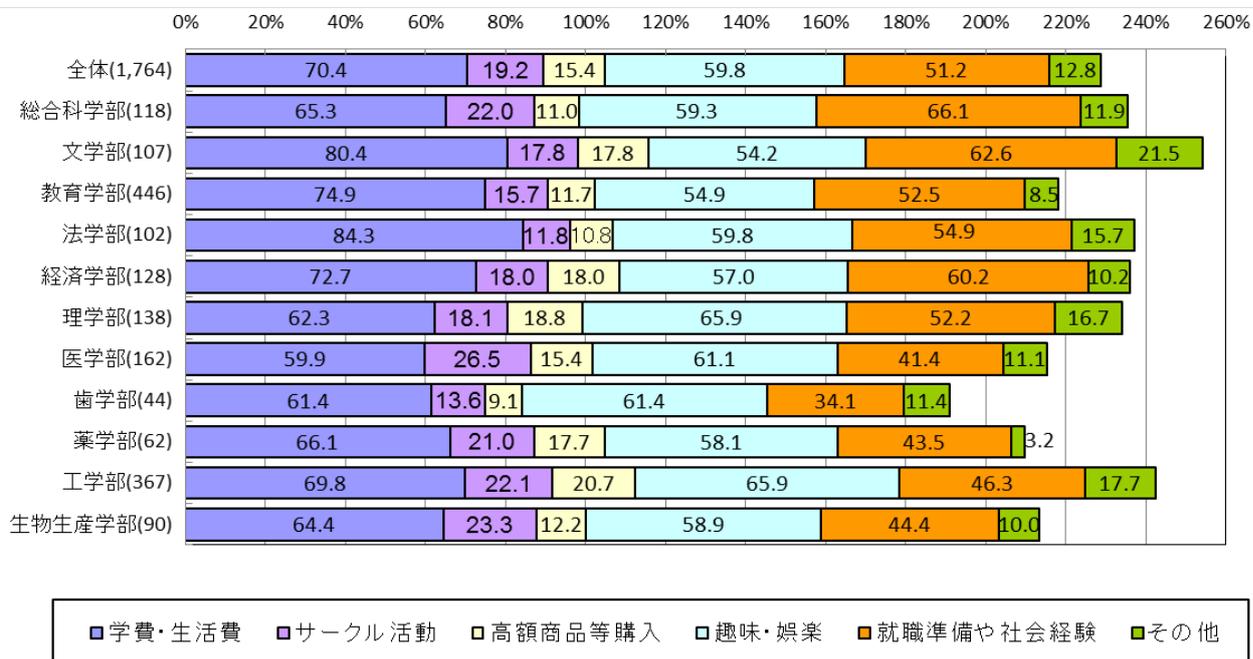
問5 入学後何らかのアルバイトに就業したことがありますか。（複数回答可）



5-2 アルバイトの目的

アルバイトの経験がある学生のうち、70.4%の学生がアルバイトの目的を学費・生活費のためと回答した。また、趣味・娯楽（59.8%）と就職準備や社会経験（51.2%）のためと回答した学生も多かった。

問6 アルバイトの主な目的は何ですか。（複数回答可）

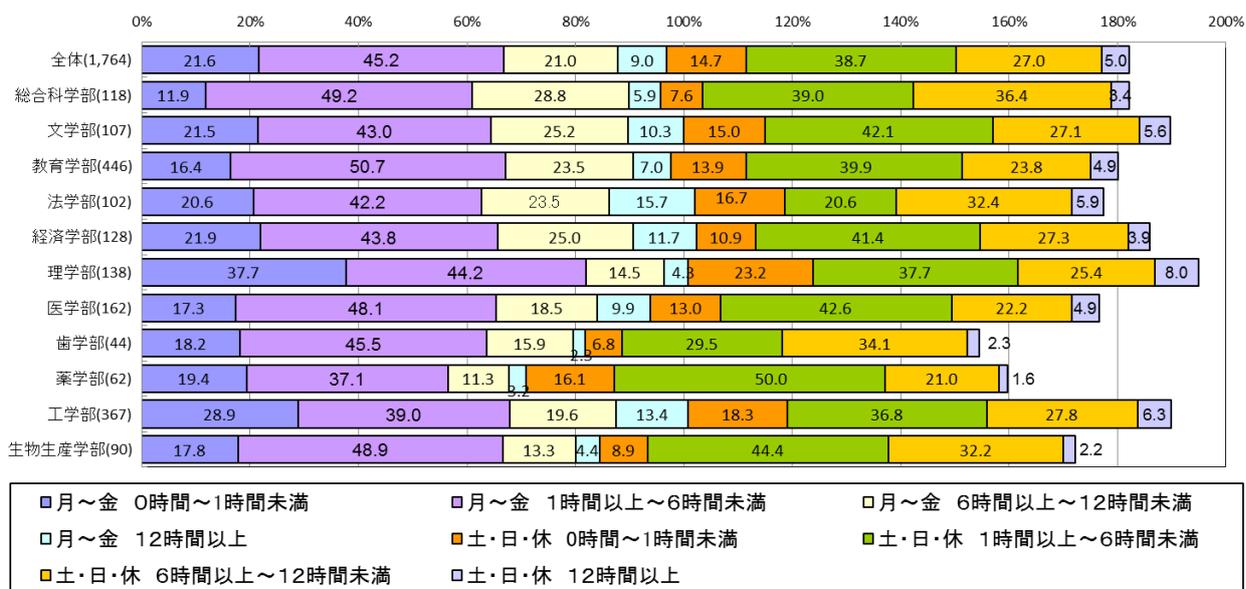


5-3 アルバイトの時間

アルバイトの経験がある学生のうち、アルバイトに充てている時間は平日の月曜から金曜までの5日間で、1時間以上6時間未満が多く(45.2%)、次いで土日休日の1時間以上6時間未満(38.7%)であった。

これらの結果は、前回の調査結果(平日5日間の平均で8.3時間、土日2日間で平均6.4時間)と比較し、アルバイトに充てている時間は少ない結果となった。

問7 アルバイトに充てている時間を「月曜から金曜」、「土曜及び日曜・休日」それぞれの中から一ずつ選択してください。

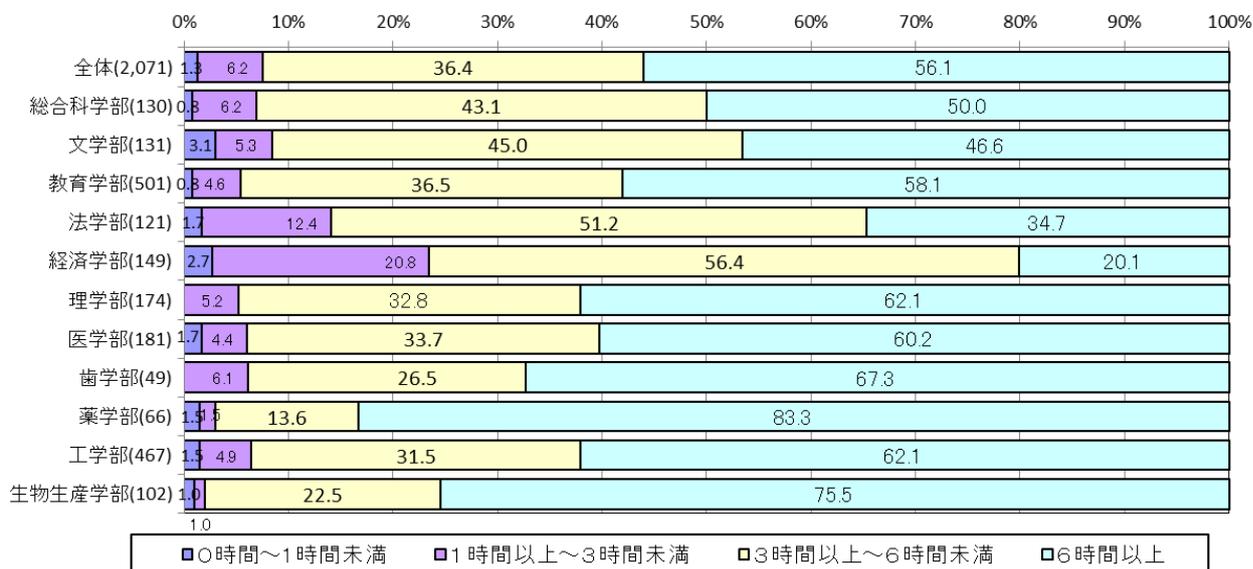


6 大学構内での滞在時間・場所について

6-1 大学構内の滞在時間

大学全体では、過半数(56.1%)の学生が6時間以上、大学に滞在している。これは、前回の調査とほぼ同様である(平成20年度54.0%)。6時間以上滞在している学生の比率を学部別にみると、多い順に、薬学部、生物生産学部、歯学部、工学部/理学部、医学部となり、一方、少ない順では、経済学部、法学部、文学部となる。一般的に、理系が文系に比べ、長時間、大学に滞在している傾向がある。

問8 大学構内にどれくらいの時間滞在していますか。

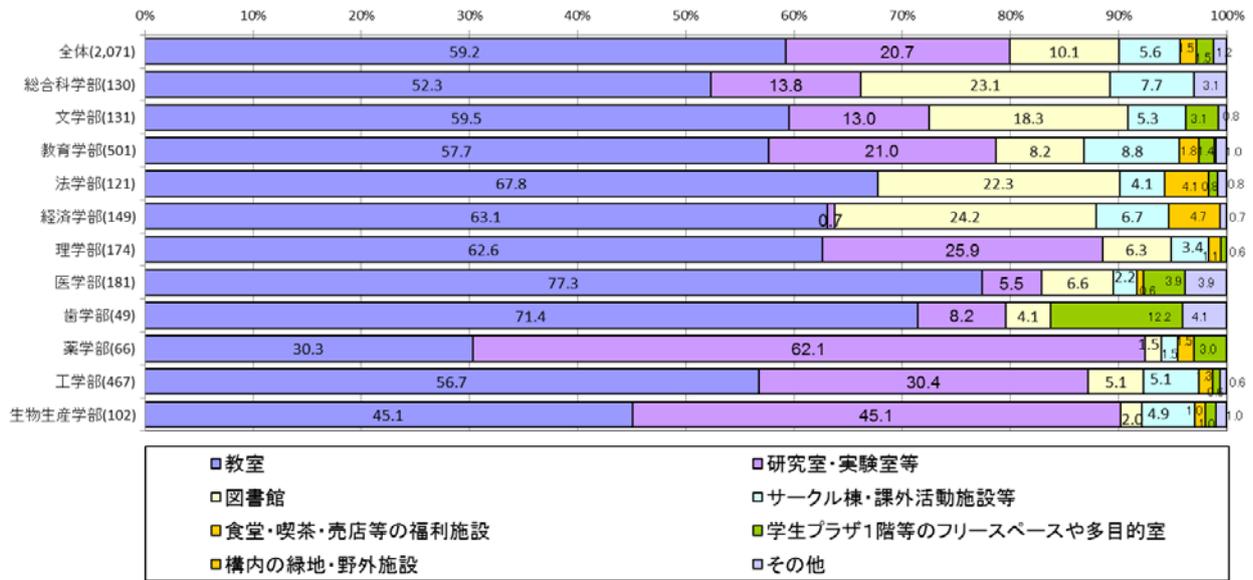


6-2 大学構内での滞在場所

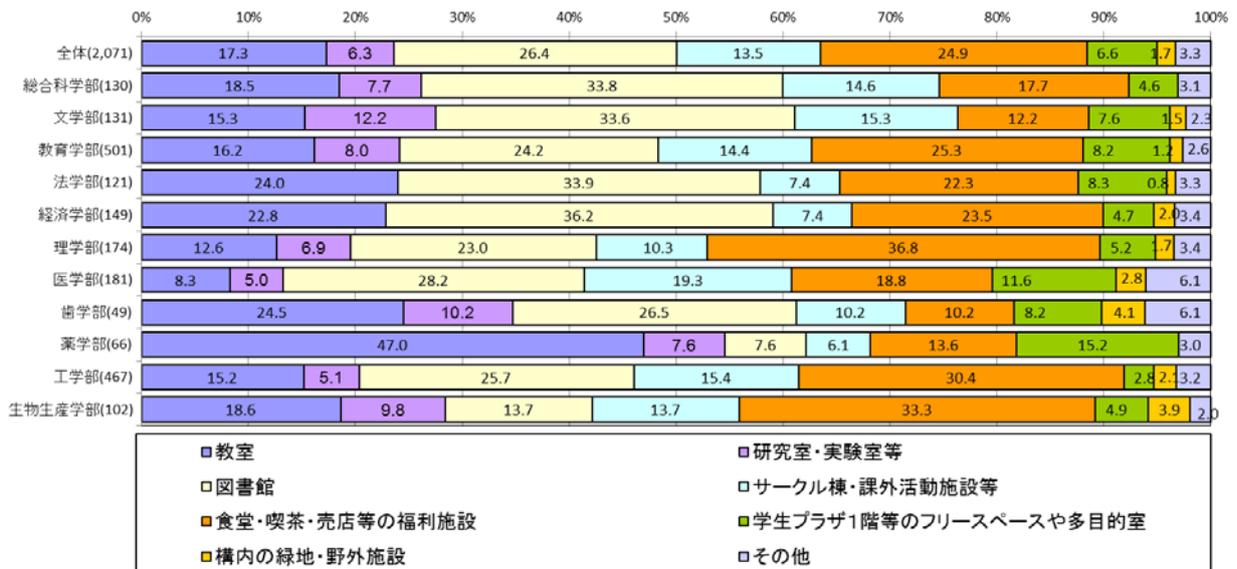
大学内で1番多く滞在している場所を全体でみると、教室(59.2%)、研究室・実験室(20.7%)、図書館(10.1%)の順になる。学部別にみると、理系、特に、薬学部では、研究室・実験室が1番多く滞在する場所となり、他の理系学部においても(生物生産学部、工学部、理学部)、研究室・実験室の滞在割合が高くなる傾向にある。一方、文系では(経済学部、総合科学部、法学部、文学部)、研究室・実験室よりも、図書館の滞在割合が高い。

大学内で2番目に多く滞在する場所は、図書館に続いて、食堂などの福利施設である。

問9 大学構内の滞在時間のうち、1番多く滞在している場所はどこですか。



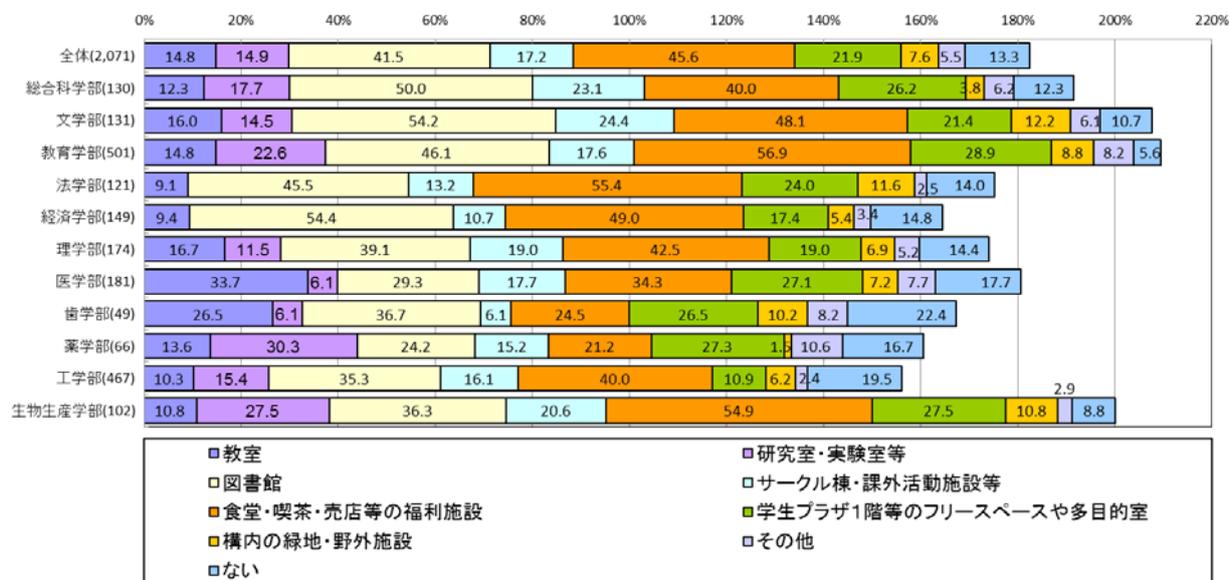
問10 大学構内の滞在時間のうち、2番目に多く滞在している場所はどこですか



7 大学構内でくつろいで過ごせる場所

大学構内でくつろいで過ごせる場所は、学部別に大きな差異はなく、食堂などの福利施設、図書館、学生プラザ1階（フリースペース・多目的室）の順である。くつろげる場所が、「ない」と答えた学生は、全体では13.3%で、前回調査（平成20年度）の28.6%から、かなり減少した。これは、学生プラザのフリースペースなど、福利施設の充実が要因の一つと考えられる。

問11 大学内にくつろいで過ごせる場所はありますか。（複数回答可）



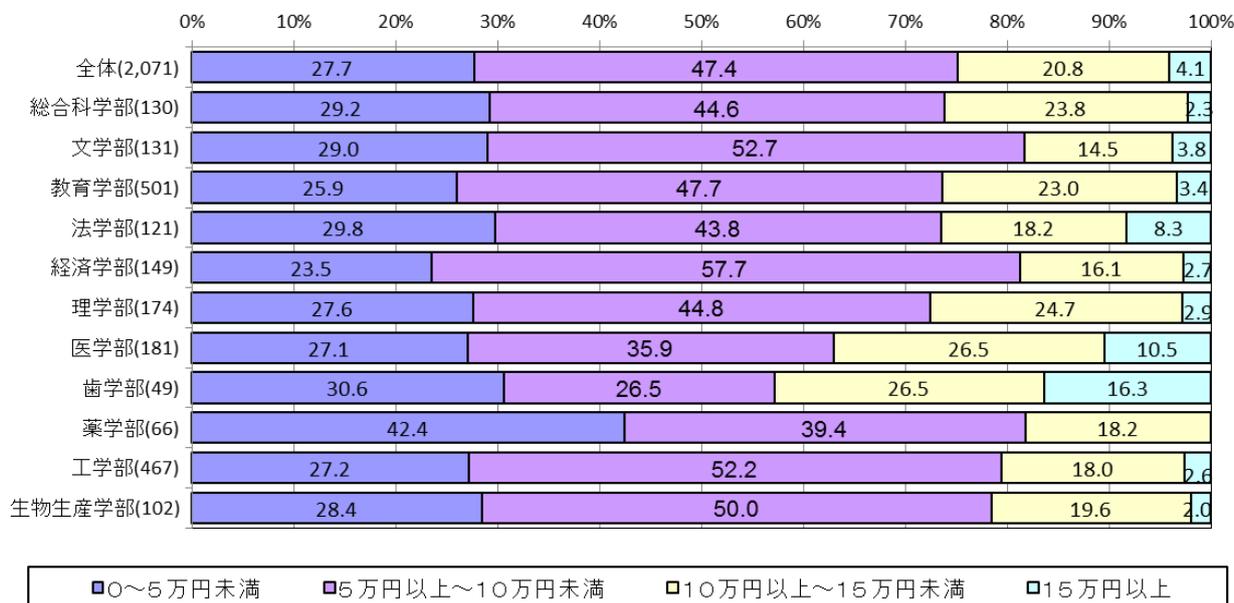
8 1ヶ月の生計費（収入・支出）

8-1 収入

最も多いのは5万円以上10万円未満（47.4%）、次いで5万円未満（27.7%）で、いずれも平成20年度の調査より増加している。5万円以上10万円未満（31.3%→47.4%）、5万円未満（11.8%→27.7%）。10万円以上収入のある割合が半分以下に減少している（56.9%→24.9%）。

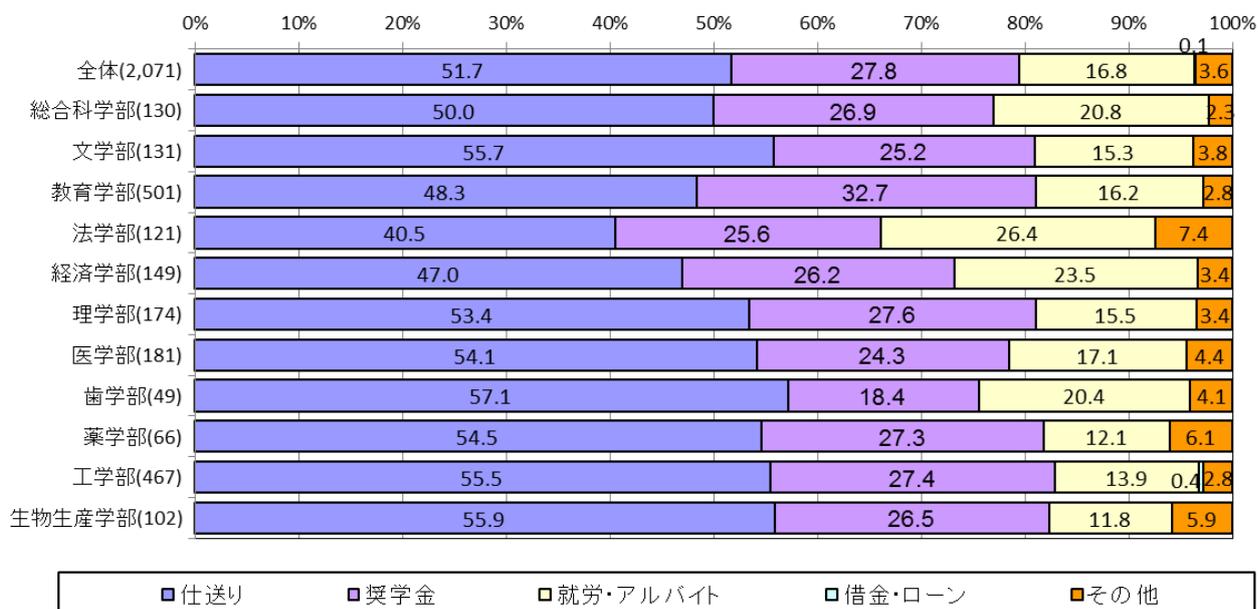
問12と問13の結果から、リーマンショック以降の景気後退の影響により、仕送りが減少していることが推測できる（授業料免除や奨学金等の支援策の拡充について検討する必要があるか）。

問12 1ヶ月の生計費（収入）はいくらですか。



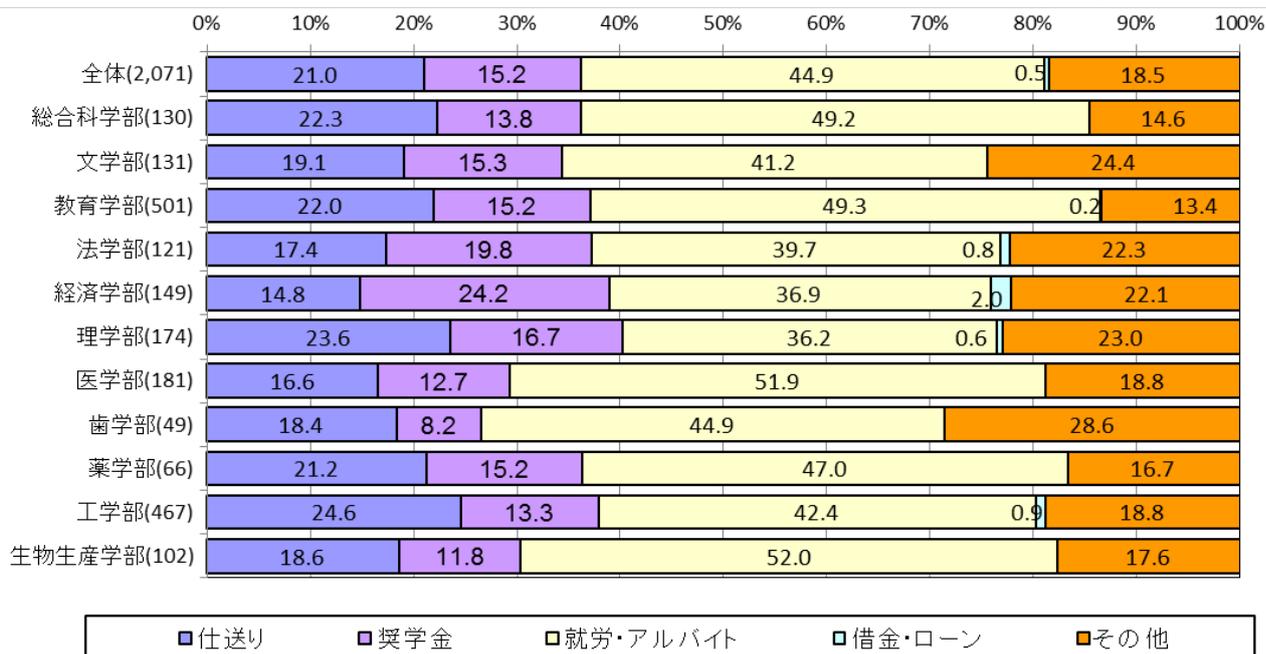
問 13 1ヶ月の生計費（収入）のうち、1番多い収入は、次のどれですか。

最も多いのは仕送り（51.7%）、次いで奨学金（27.8%）、就労・アルバイト（16.8%）と続く。



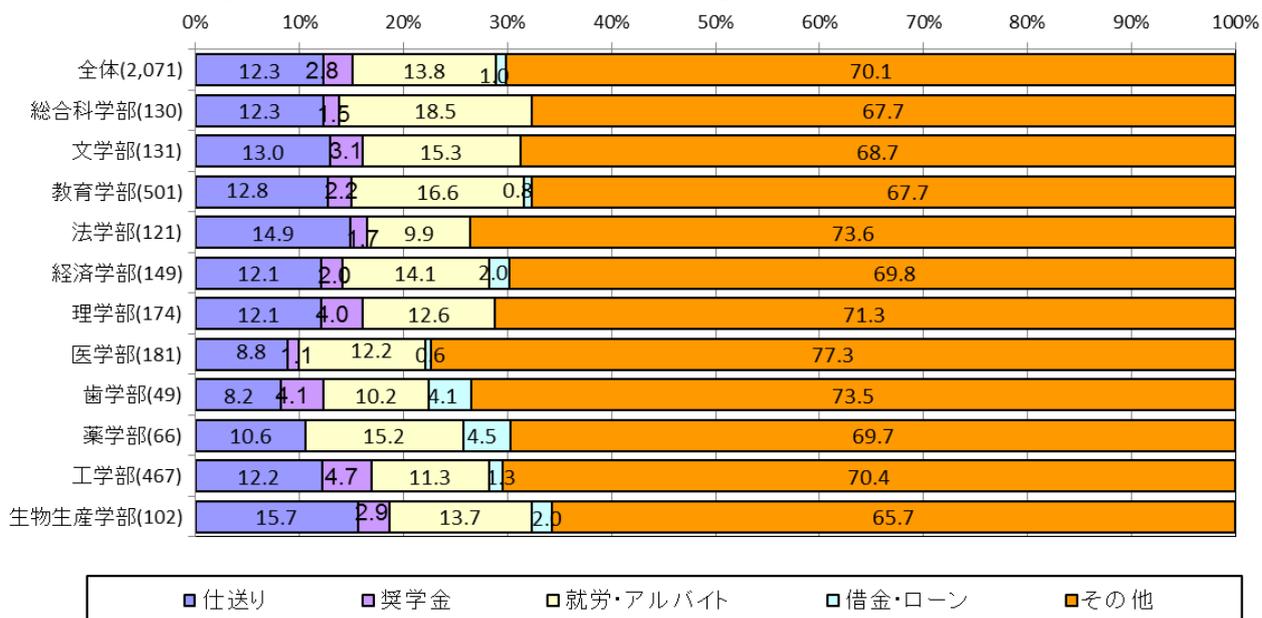
問 14 1ヶ月の生計費（収入）のうち、2番目に多い収入は、次のどれですか。

最も多いのは就労・アルバイト（44.9%）、次いで仕送り（21.0%）と続く。



問 15 1ヶ月の生計費（収入）のうち、3番目に多い収入は、次のどれですか。

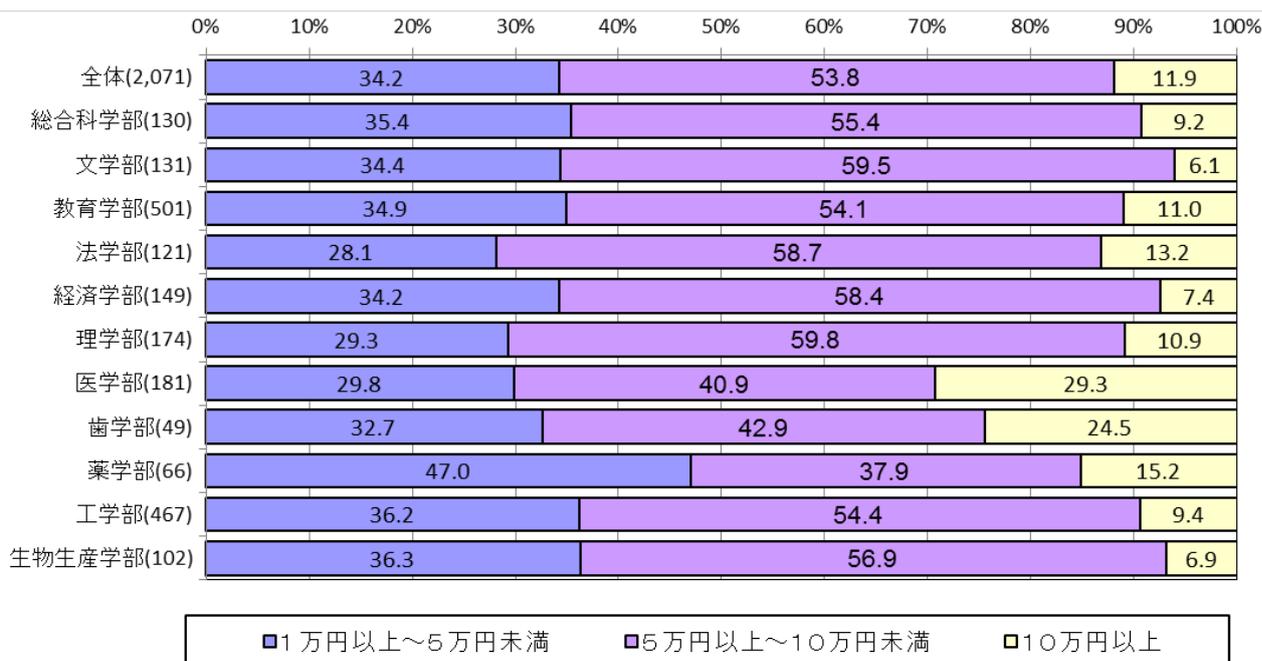
最も多いのがその他（70.1%）であり、実態は不明である。



8-2 支出

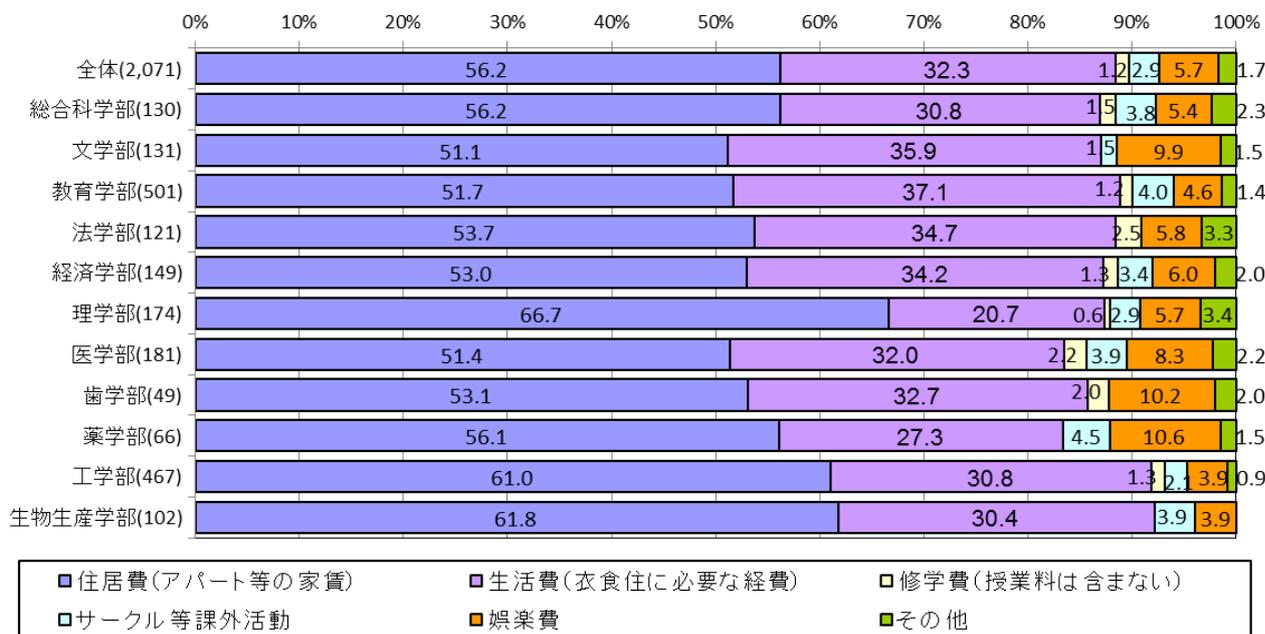
最も多いのは5万円以上10万円未満（53.8%）、次いで5万円未満（34.2%）、いずれも平成20年度の調査より増加している。5万円以上10万円未満（32.9%→53.8%）、5万円未満（21.5%→34.2%）。10万円以上支出している割合が大幅に減少している（45.6%→11.9%）医学部、歯学部は10万円以上支出している割合が他学部に比べて多い（平均11.9%、医学部29.3%、歯学部24.5%）。

問 16 1ヶ月の生計費の支出はいくらですか。



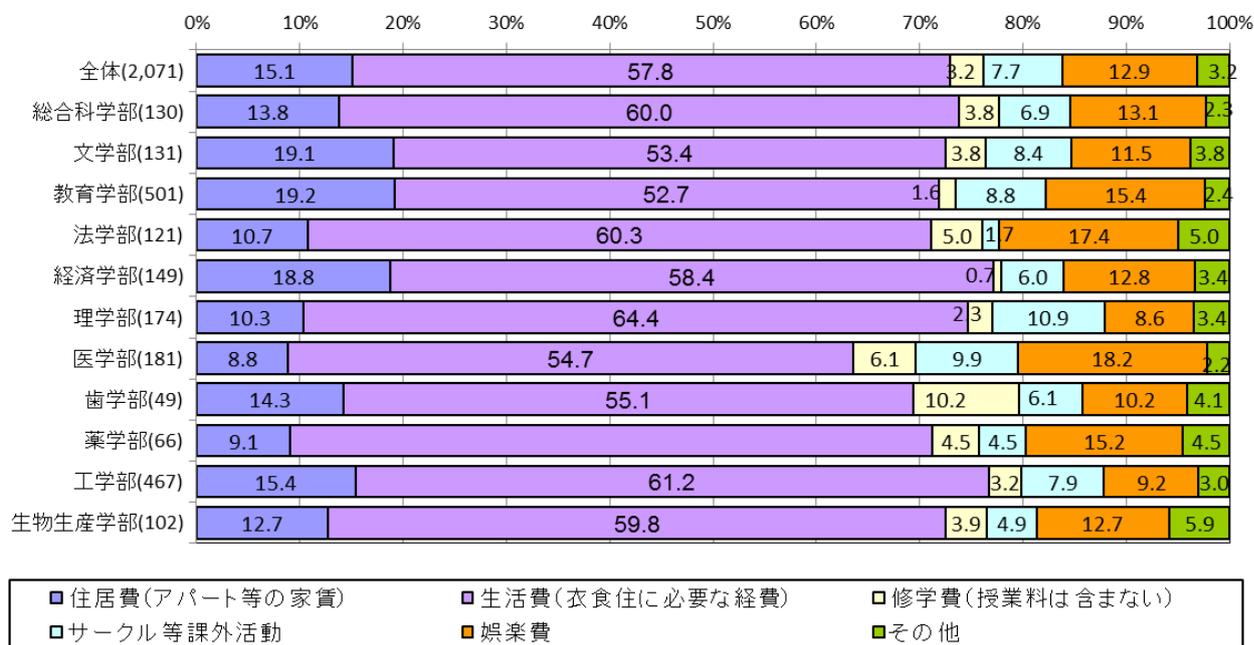
問 17 1ヶ月の生計費（支出）のうち、1番多く必要とする経費は何ですか。（授業料は含まない）

最も多いのは住居費（56.2%）、次いで生活費（32.3%）。



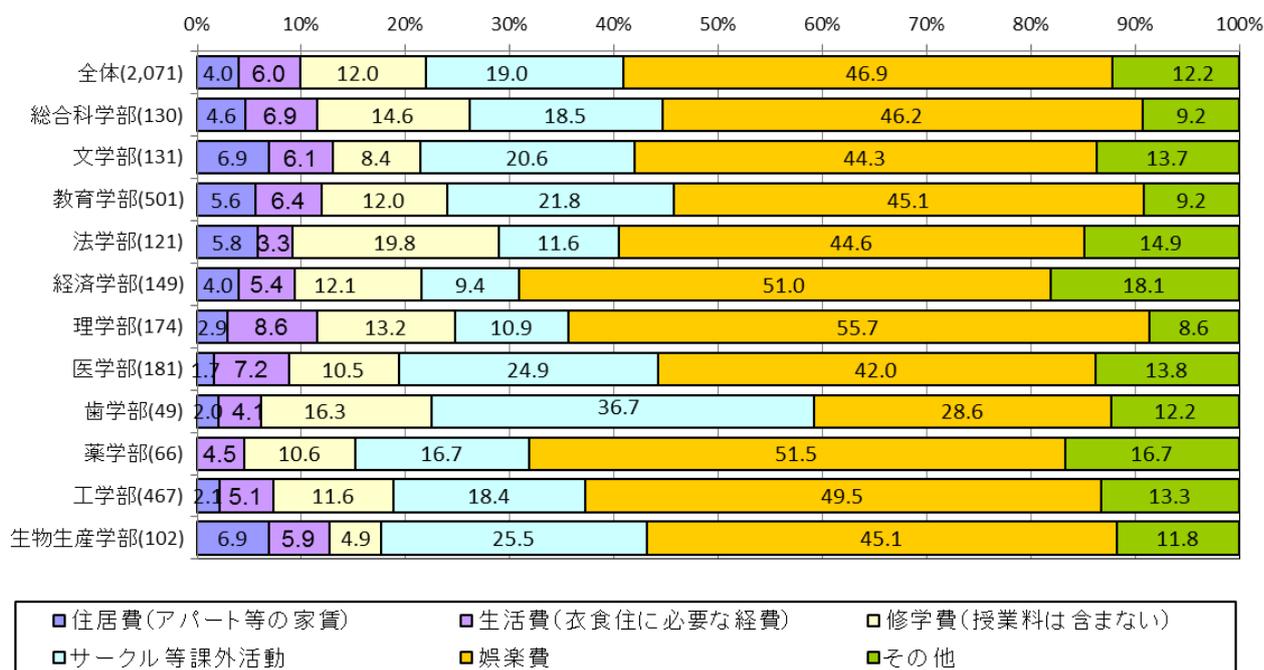
問 18 1ヶ月の生計費（支出）のうち、2番目に多く必要とする経費は何ですか。（授業料は含まない）

最も多いのは生活費（57.8%）、次いで住居費（15.1%）、娯楽費（12.9%）と続く。



問 19 1ヶ月の生計費（支出）のうち、3番目に多く必要とする経費は何ですか。（授業料は含まない）

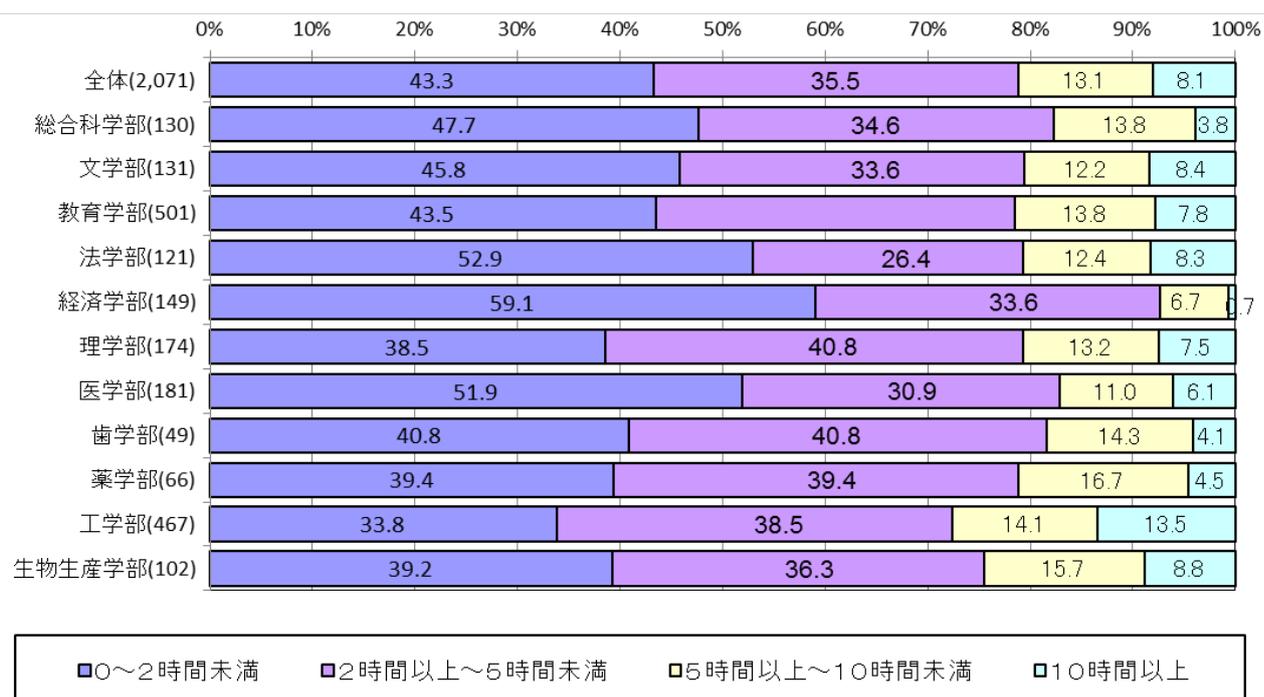
最も多いのは、娯楽費（46.9%）、次いでサークル等課外活動（19.0%）である。



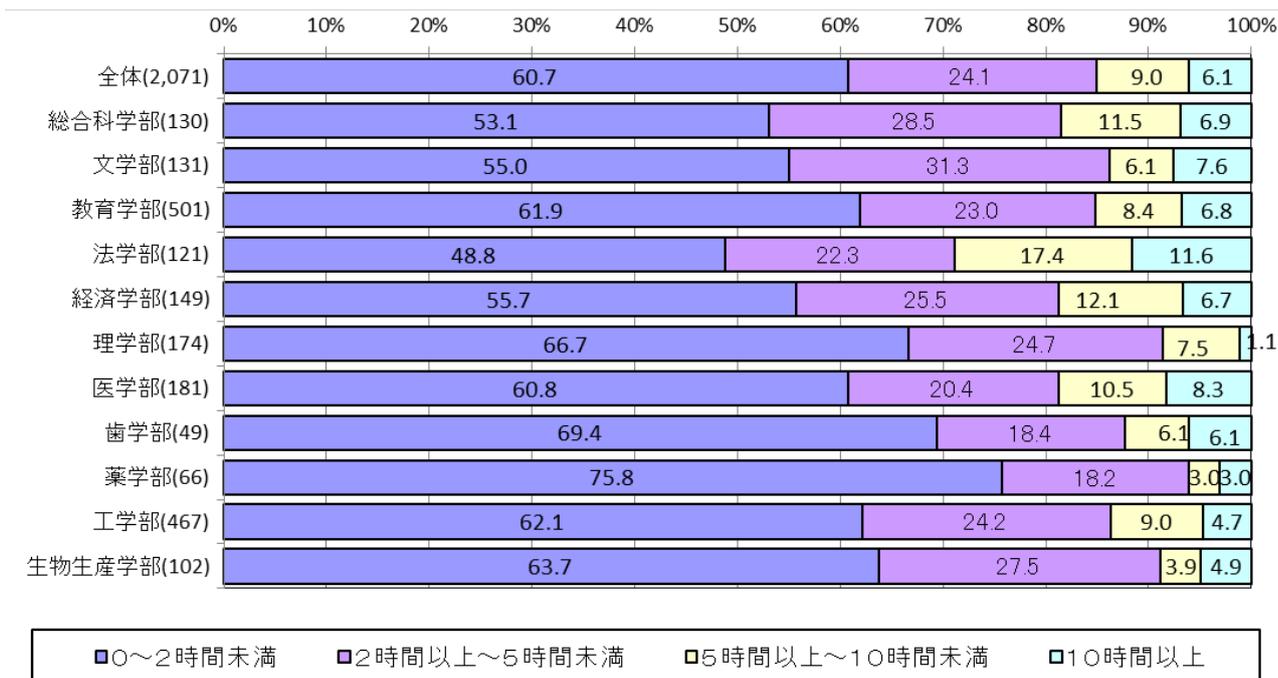
9 1週間の学習時間

授業等の予習・復習に充てている1週間の平均時間を全学的にみると、2時間未満が43.3%、2時間から5時間未満が35.5%、5時間から10時間未満が13.1%であり、この傾向は、学部別に大きな差異はない。また、授業や研究以外の学習に充てている時間も、全学的にみると、2時間未満が60.7%、2時間から5時間未満が24.1%である。

問 20 1週間を平均して、授業やゼミの予習・復習にどれくらいの時間をあてていますか。



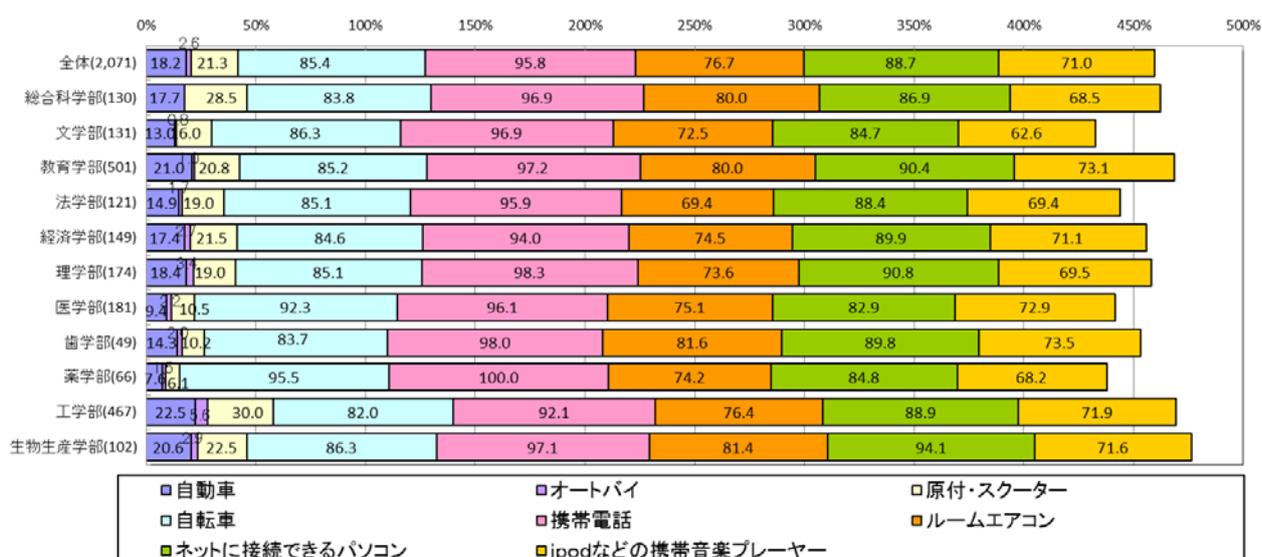
問 21 1週間を平均して、授業や研究以外の学習にどれくらいの時間をあてていますか。



10 所有もしくは占有している物

学生の所有物の所有比率は、自動車 18.2%(前回調査平成 20 年度:20.8%)、オートバイ 2.6%(3.7%)、原付・スクーター21.3% (24.7%)、自転車 85.4% (82.2%) などについては、前回調査時とほとんど変わらないが、一方、携帯電話 95.8%(90.7%)、パソコン 88.7%(78.3%)、ルームエアコン 76.7%(70.9%)、携帯音楽プレーヤー71.0% (57.4%)などは、前回調査時よりも顕著に増加し、ほとんどの学生が所有している。

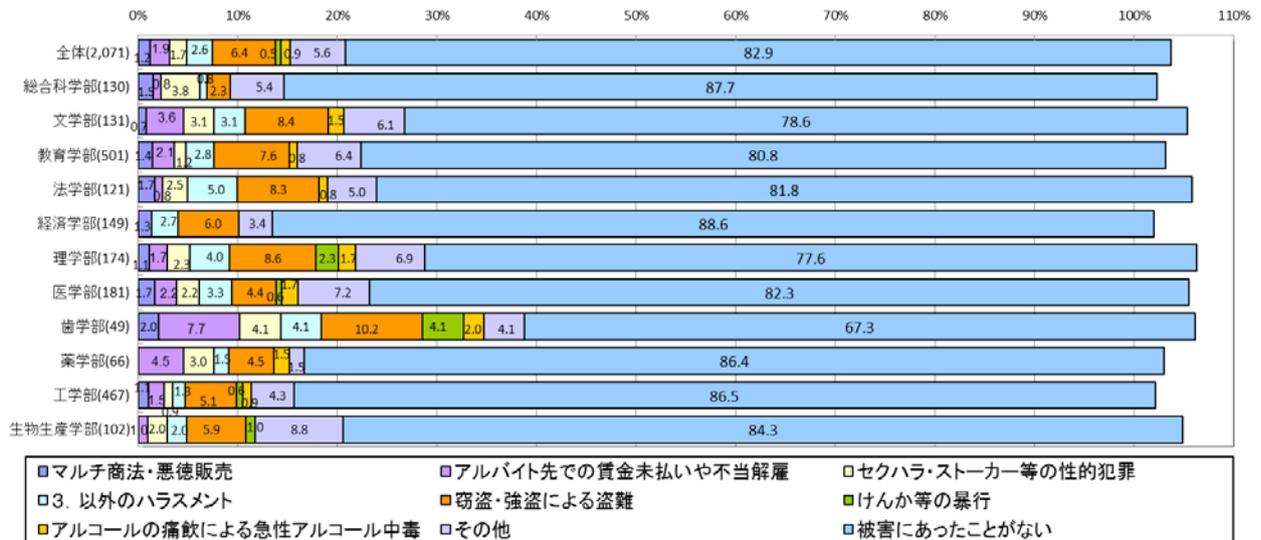
問 22 所有もしくは専用物がありますか。(複数回答可)



11 犯罪やトラブルなどの被害経験

犯罪やトラブルなど、何らかの被害にあったことがある者は 17.1%と、前回調査とほぼ同じ結果であった。割合として高いのは盗難であるが、前回 4.9%から今回 6.4%に増加している。マルチ商法・悪徳販売 1.2%、アルバイト先での賃金未払いや不当解雇 1.9%と金銭をめぐるトラブルの他に、セクハラ・ストーカー等の性的犯罪 1.7%、セクハラ以外のハラスメント 2.6%といった人権侵害がある。また、アルコールの痛飲による急性アルコール中毒 0.9%は、前回よりも 0.3%増加している。

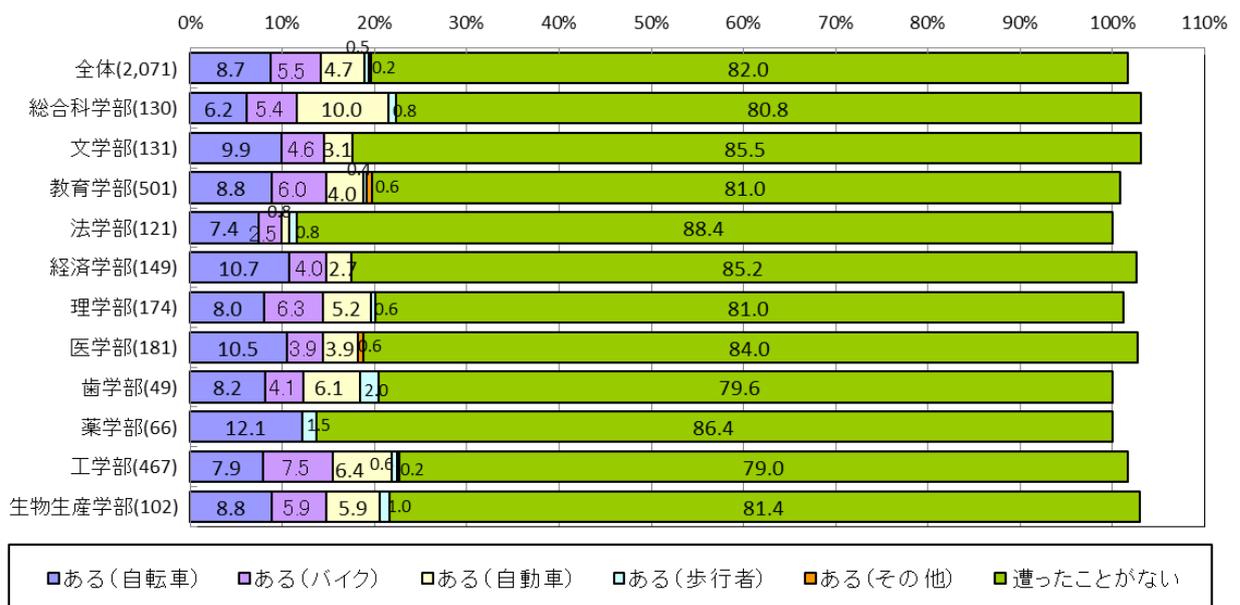
問 23 学生生活において、何らかの犯罪や民事上の被害・トラブルを経験したことがありますか。(複数回答可)



12 交通事故の経験

在学中に交通事故にあったことがある者は 18%。自転車での事故がもっとも多く 8.7%、次にバイク 5.5%、自動車 4.7%とつづき、歩行中の事故も 0.5%が経験している。

問 24 在学中交通事故に遭ったことがありますか。(複数回答可)

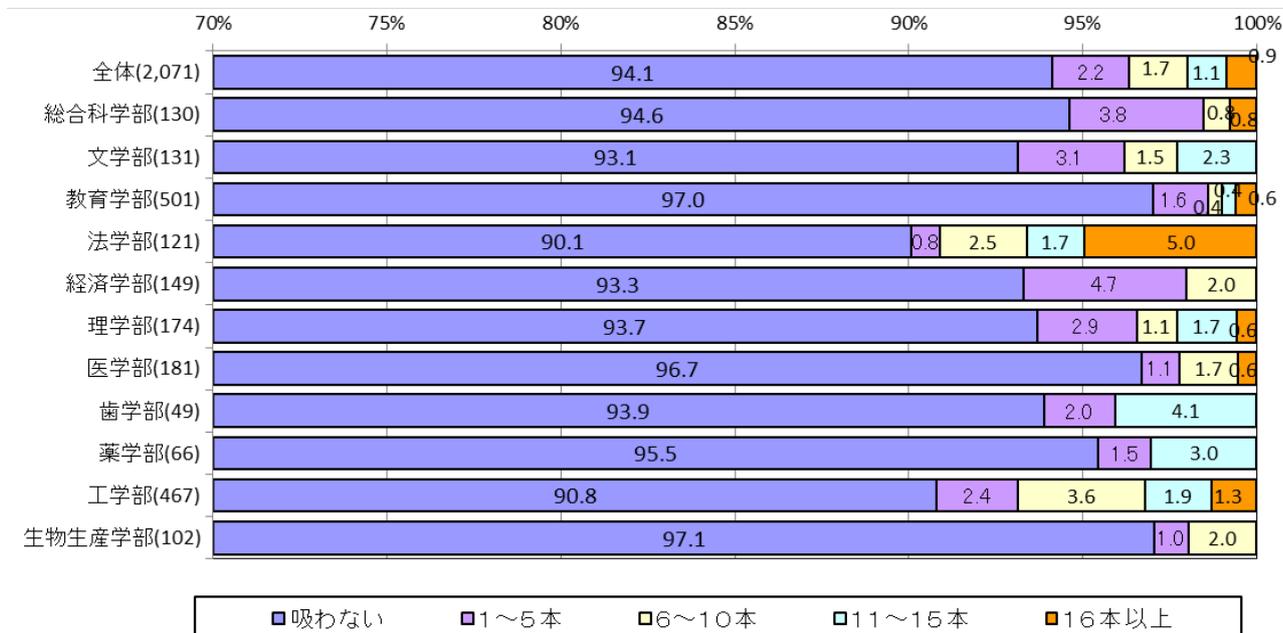


13 喫煙及び飲酒の習慣

13-1 喫煙

喫煙の習慣がある者は5.9%であり、前回7.0%からさらに減少している。また、吸う本数は1日10本以下が喫煙者の3分の2を占める。

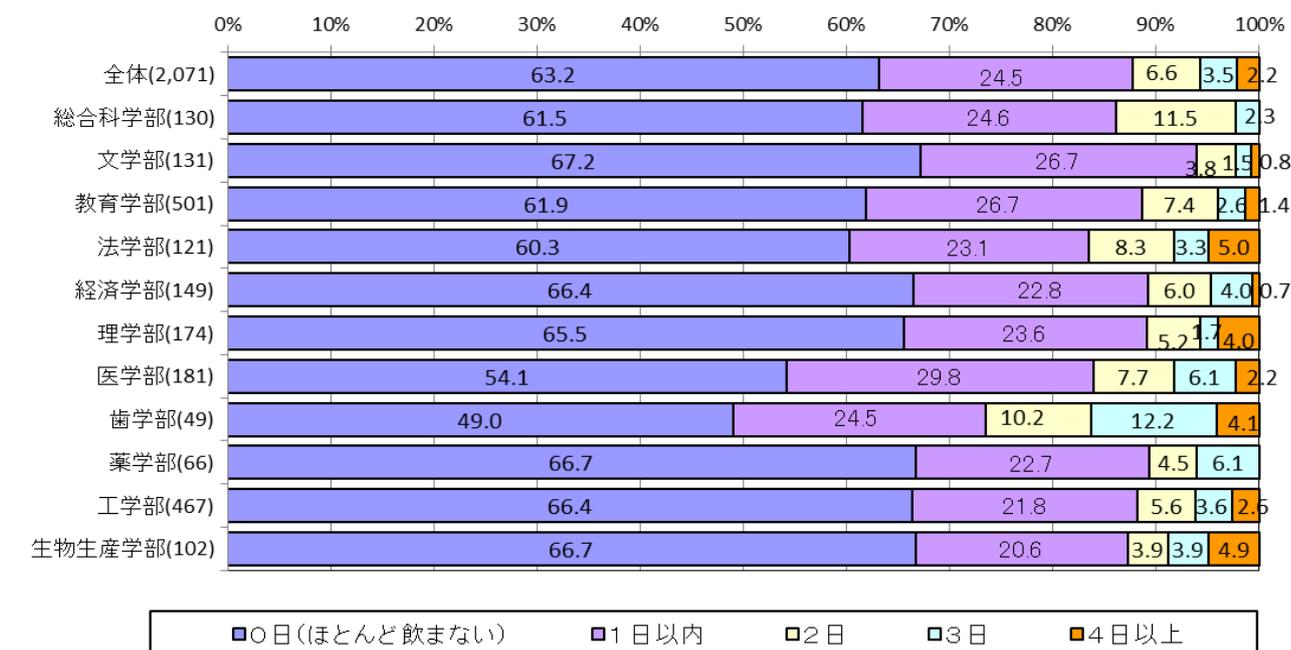
問 25 喫煙の習慣がありますか。1日に吸う本数をお答えください。



13-2 飲酒

飲酒の習慣がある者は36.8%であり、前回34.1%よりも若干増加している。1週間に飲む日数は1~2日が大半である。

問 26 飲酒の習慣がありますか。1週間に飲む日数をお答えください。



14 薬物（大麻等・覚醒剤）について

薬物（大麻等・覚醒剤）について、97.4%が見たり聞いたりしたことはないと回答している。しかし、所持又は使用している人を見たり聞いたりしたことがある者 2.0%、薬物の使用や栽培を誘われたことがある者も 0.5%と存在する。

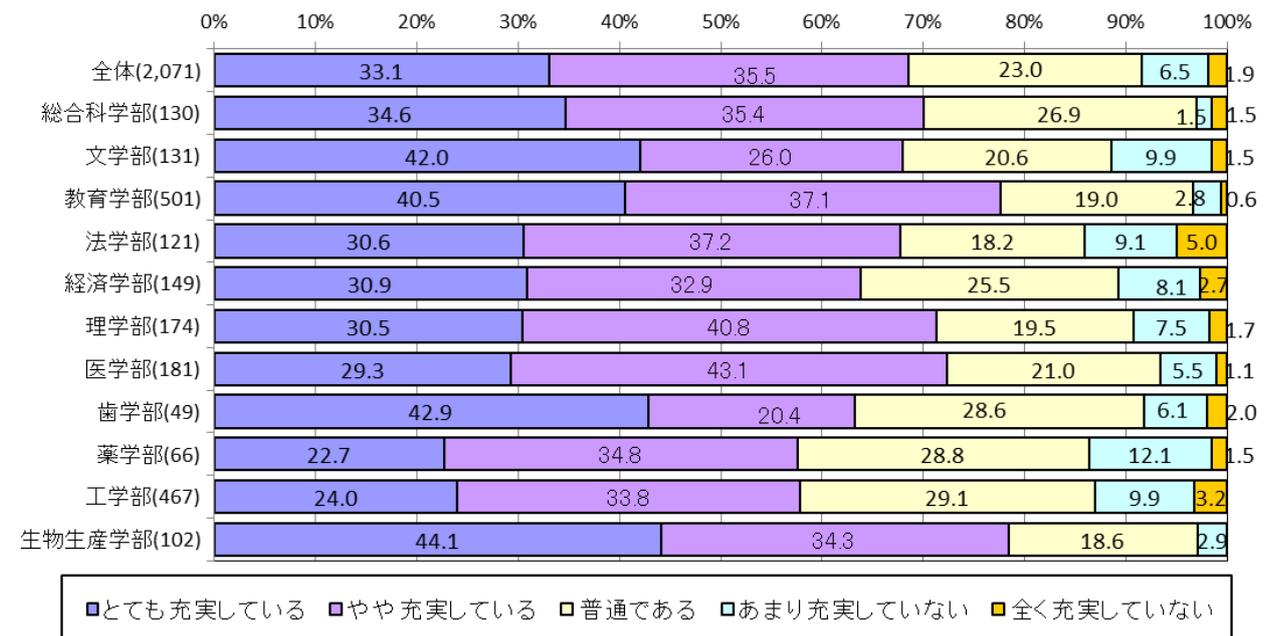
問 27 薬物（大麻等・覚醒剤）について、該当するものを選択してください。（複数回答可）



15 授業以外の学生生活の充実度

全体では「とても充実している」「やや充実している」を合わせると 68.6%で、3人に2人が肯定的にとらえていた前回調査と同様の結果であった。「あまり充実していない」「全く充実していない」と回答したのは、2.9~14.1%と学部によってややばらつきがみられた。

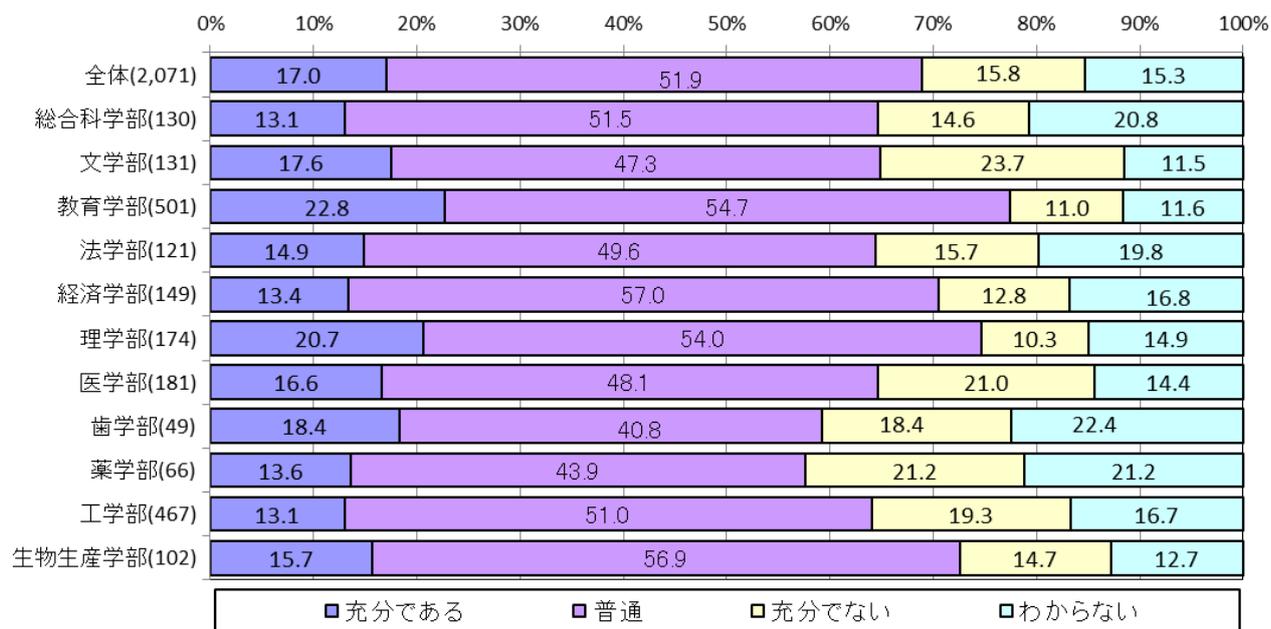
問 28 授業以外の学生生活を充実して過ごしていますか。



16 授業以外の学生生活に対する大学のサポート体制やサービス

前回調査と比較すると、「充分である」が 13.5%から 17.0%に増加している一方で、「充分でない」も 13.7%から 15.8%と若干増加している。「充分である」「普通」を合わせると約7割となり、前回とほぼ同じ結果であった。

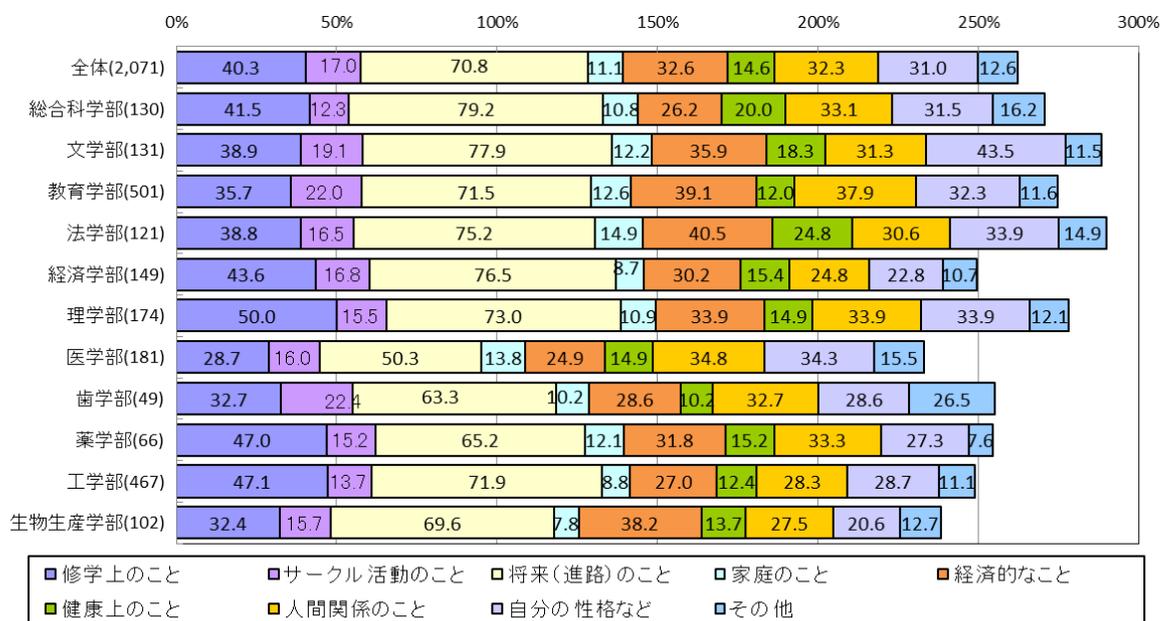
問 29 授業以外の学生生活に関して、大学側のサポート（支援）体制やサービス内容・メニューは、全般的に見て充分だと思いますか。



17 学生生活の悩み

この問の回答には、「悩みはない」という選択肢を設けていなかったため、回答者は何れか1つは必ず選択するという結果になっている。その中でもっとも多かったのは将来（進路）のこと 70.8%であり、次に修学上の問題 40.3%、経済的なこと 32.6%と続く。人間関係や自分の性格などの悩みがそれぞれ 30%強、サークル活動 17.0%、さらに、健康上のこと 14.6%と7人に1人が健康面で悩みを抱えている。

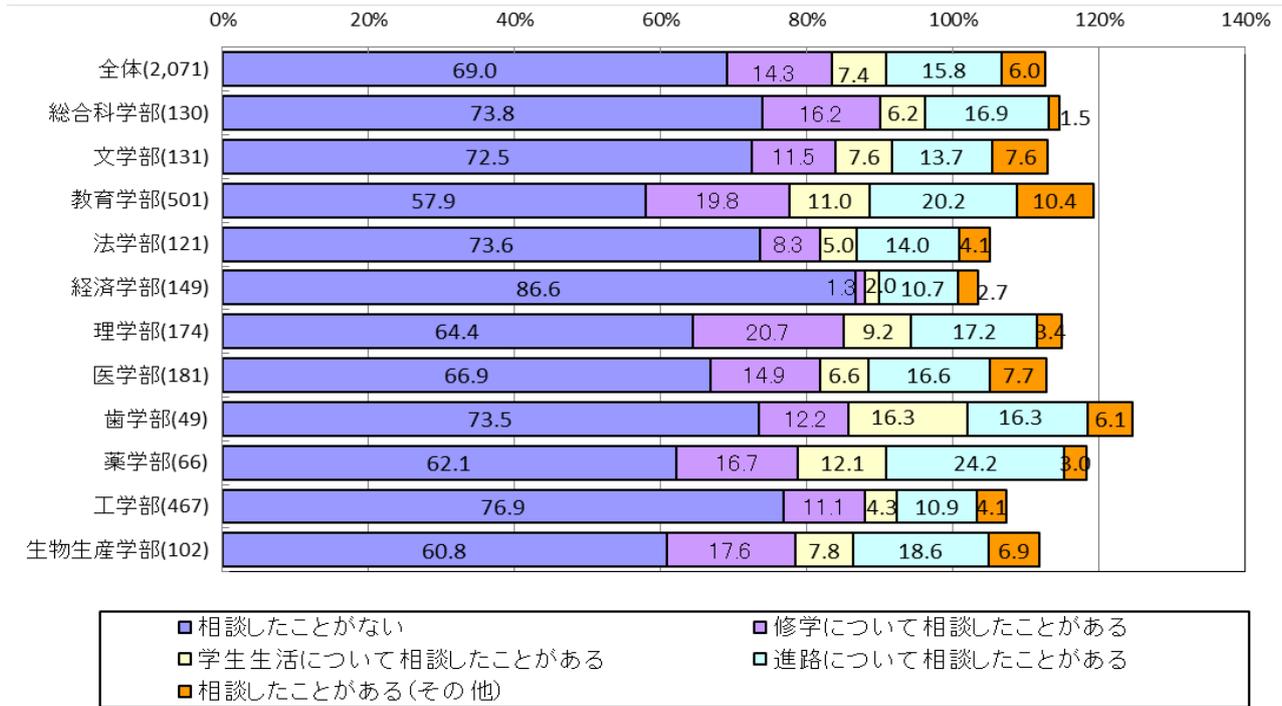
問 30 学生生活の中で悩みがありますか。（複数回答可）



18 チューターへの相談と相談内容

チューターへの相談経験は13.4～42.1%と学部によってかなりばらつきがある。全体では31%に相談の経験があり、前回調査27%より若干増えている。また、相談内容で多いのは、前回同様修学や進路に関するもので、15%前後の者がそれらの問題についてチューターに相談している。

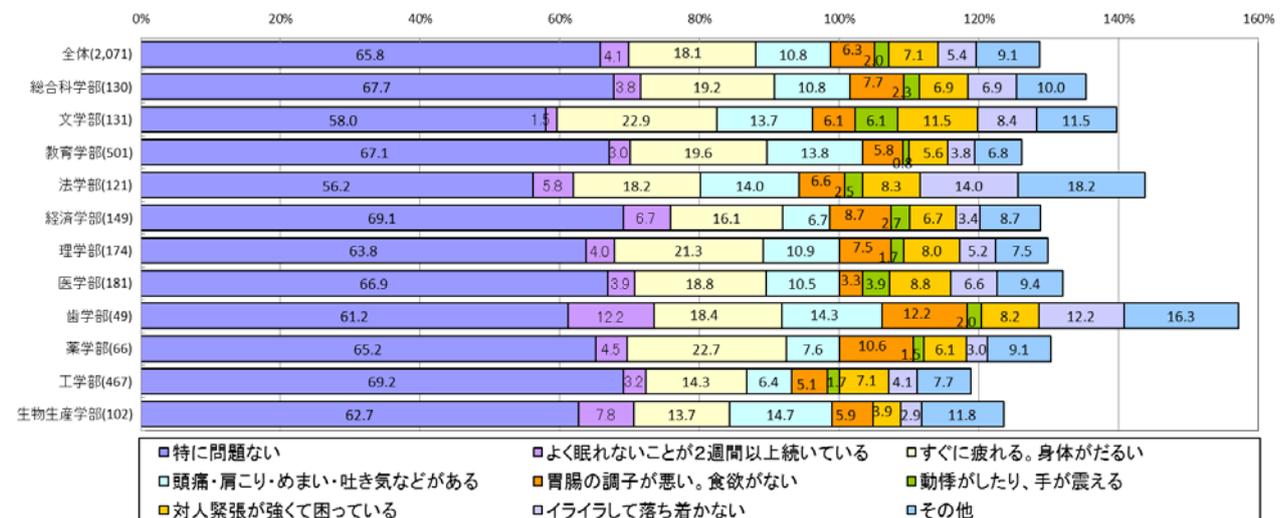
問 31 修学や学生生活に関して相談するチューター教員がいますが、チューターに相談したことがありますか。相談したことがある場合は、相談内容を選択してください。



19 現在の健康状態

全体では65.8%が、特に問題ないと回答している。逆にいえば、3人に1人が不調を感じており、身体のだるさ・疲れ易さ18.1%、頭痛・肩こり等10.8%、胃腸の不調6.3%、対人緊張7.1%、不安・イライラ5.4%という回答が得られた。これらの問題は、どんな人間でも一時的に起こるものであるが、2週間以上の不眠が続いている者が4.1%おり、このような不眠と合併した場合には注意を要する。

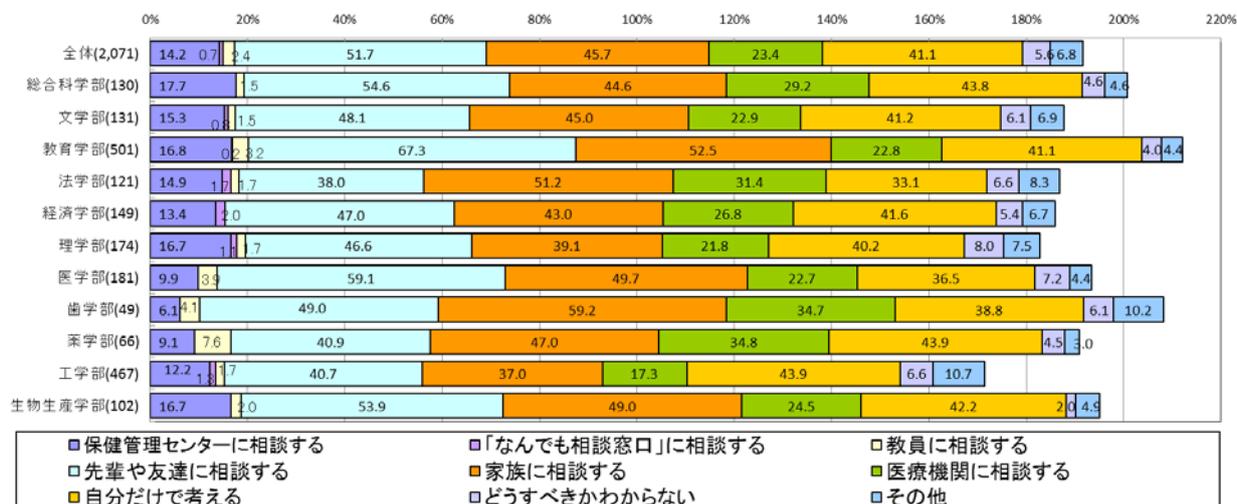
問 32 現在の健康状態はどうか。(複数回答可)



20 身体面・心理面の悩みの解消

自分だけで考えると回答したものが 41.1%であった。他者へ相談する場合は、先輩や友達が多も多く 51.7%、次に家族が 45.7%の順番である。医療機関に相談するもの 23.4%、保健管理センターへ相談するもの 14.2%と続き、どうすべきかわからないと回答したのも 5.6%あった。

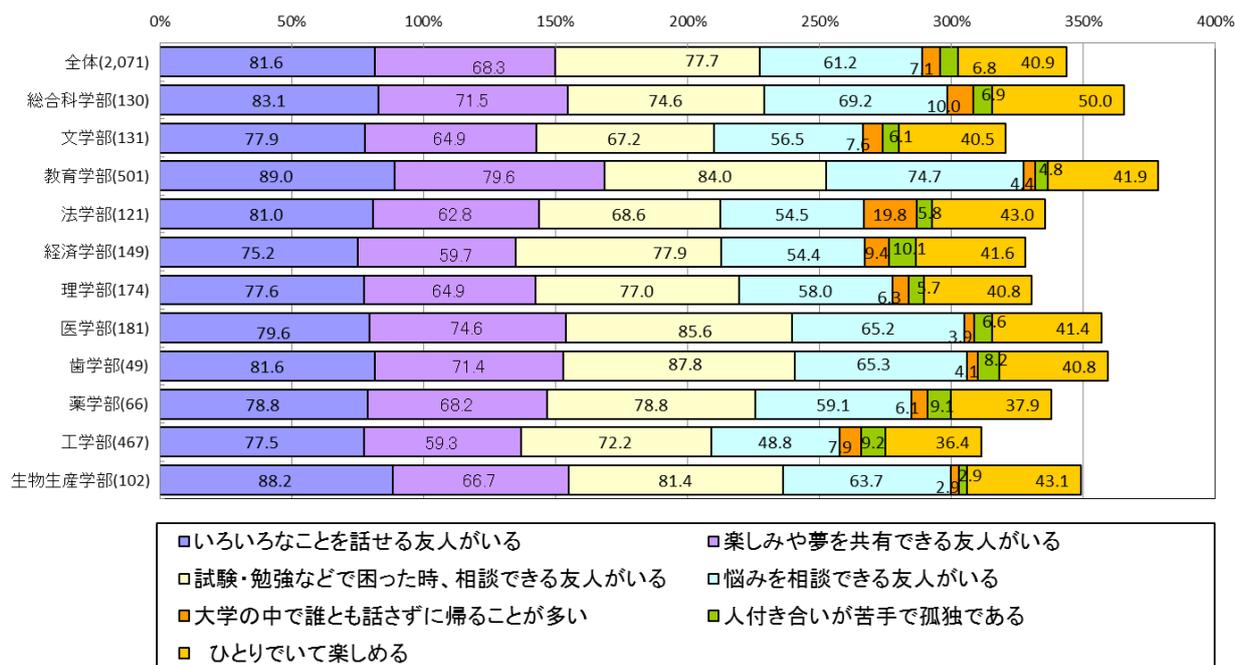
問 33 身体面、心理面で何か悩みが生じた場合には、解消に向けてどうしますか。(複数回答可)



21 友人との関係

いろいろなことを話せる友人がいる 81.6%、試験・勉強などで困った時に相談できる友人がいる 77.7%、楽しみや夢を共有できる友人がいる 68.3%、悩みを相談できる友人がいる 61.2%という回答であった。一方、大学の中で誰とも話さずに帰るとい回答も 7.1%あり、人付き合いは苦手が 6.8%であった。また、40.9%がひとりできて楽しめると回答している。

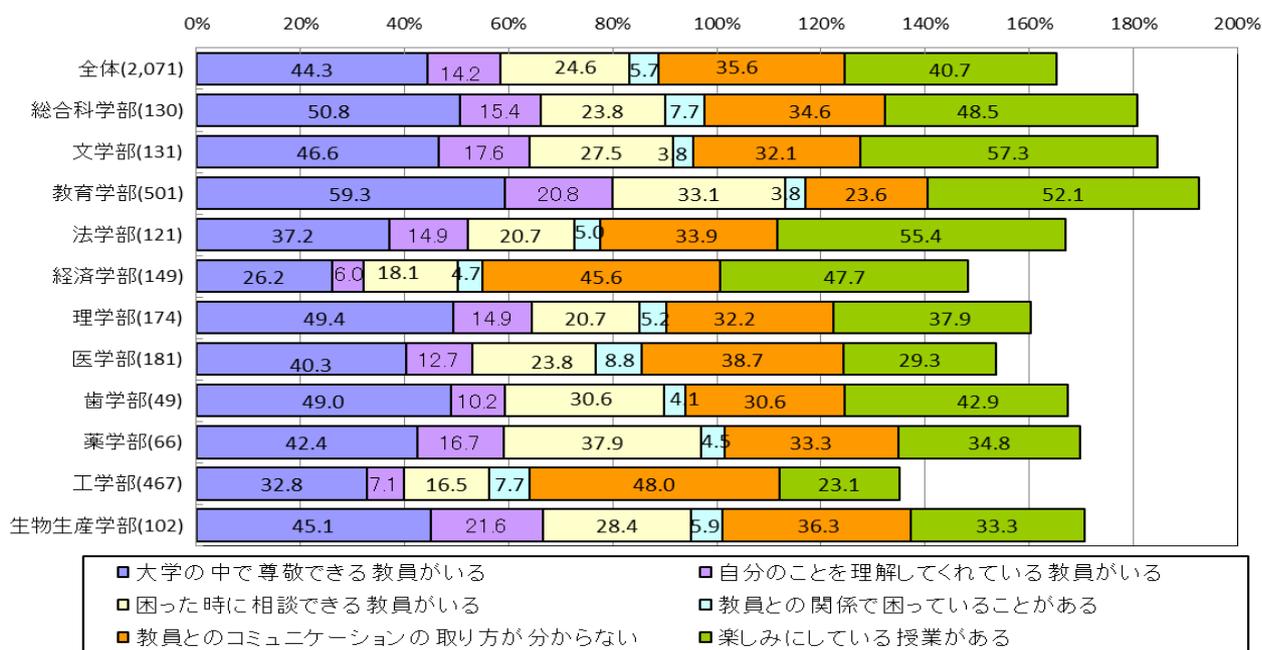
問 34 友人についてお尋ねします。複数回答可)



22 教員との関係

全体では、44.3%の学生が大学の中で尊敬できる教員がいると回答し、また、24.6%は困った時に相談できる教員がいるとしている。その一方で、教員とのコミュニケーションの取り方が分からない35.6%、教員との関係で困っていることがある5.7%という回答であった。学部ごとに特徴があり、尊敬できる教員がいるでは教育学部の59.3%、自分のことを理解してくれている教員がいるでは生物生産学部の21.6%、困った時に相談できる教員がいるでは薬学部の37.9%、楽しみにしている授業があるでは文学部の57.3%がもっとも高い比率であった。

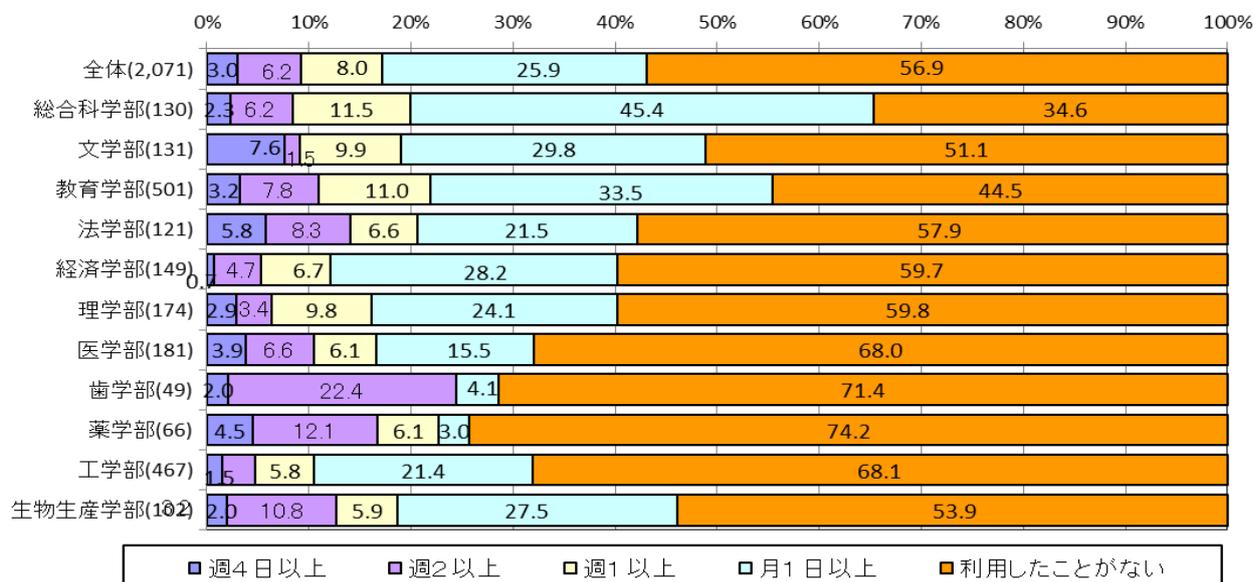
問 35 教員についてお尋ねします。(複数回答可)



23 学生交流スペースの利用

全体として43.1%の学生が利用したことがあるとなっているが、学部別では、設置場所に比較的近い総合科学部、教育学部の利用率が高い。その反面、東広島キャンパスに1年次生しかいない医学部、歯学部、薬学部の利用率が低い。但し、利用したことがある学生では、歯学部の学生が週2回以上と積極的に使用しているのが目立つ。

問 36 「学生プラザ1階のフリースペース」や西第1福利会館の集会室を利用したことがありますか。

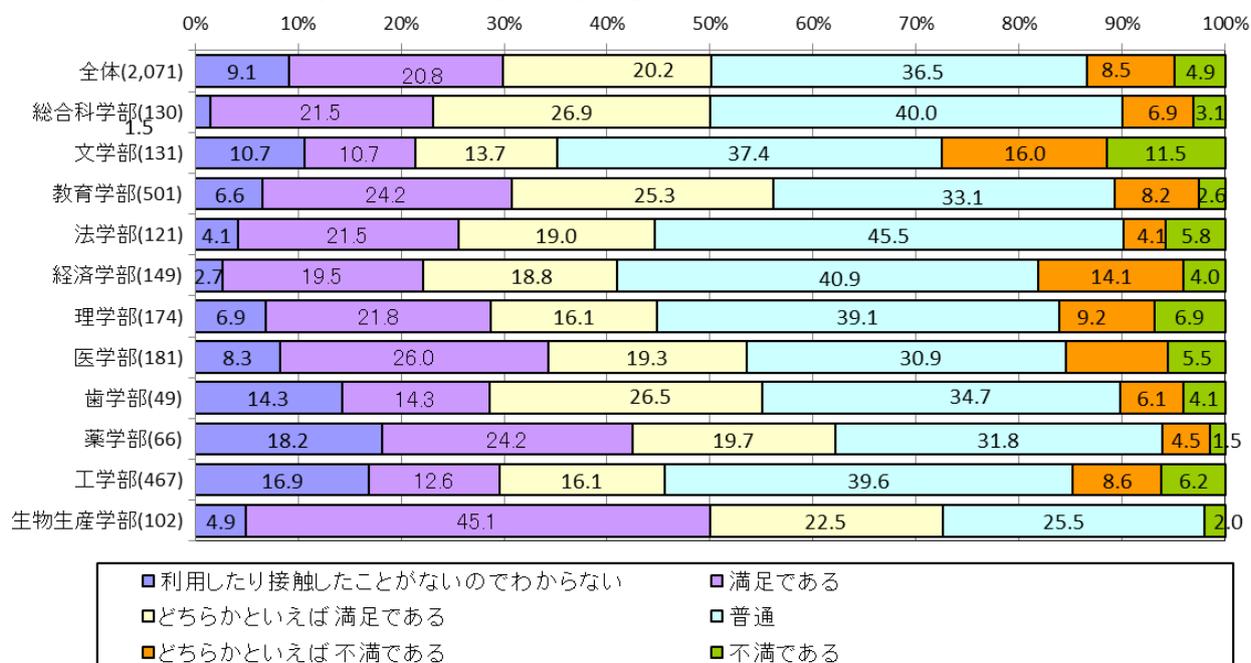


24 所属学部・研究科の学生支援室の対応

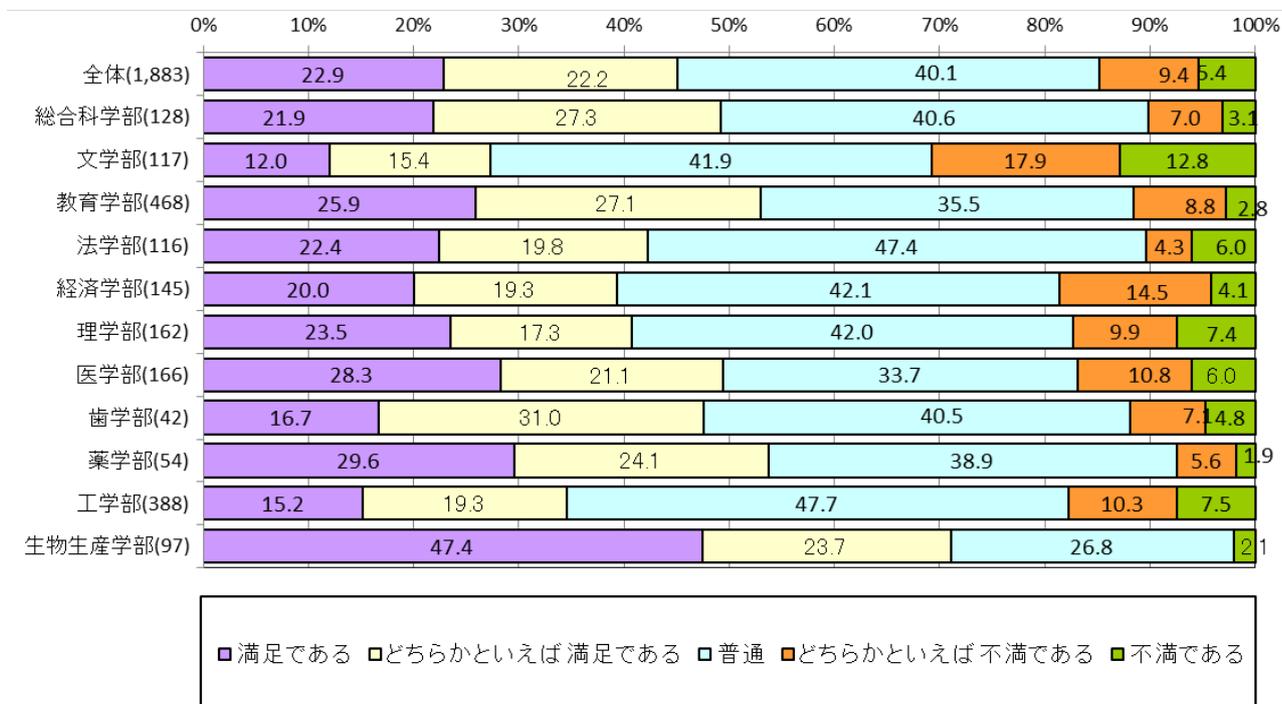
全体として 90%程度が利用したことがあり（グラフ1）、そのうち（グラフ2）の 45.1%が「満足である」「どちらかといえば満足である」となっている。特に生物生産学部は 67.6%が「満足である」「どちらかといえば満足である」となっている反面、文学部と工学部は 30%前後である。

問 37 所属学部・研究科の学生支援室の対応について、印象や満足度を教えてください。

グラフ1（利用したことがない者を含む）



グラフ2（利用したことがある者のみ）

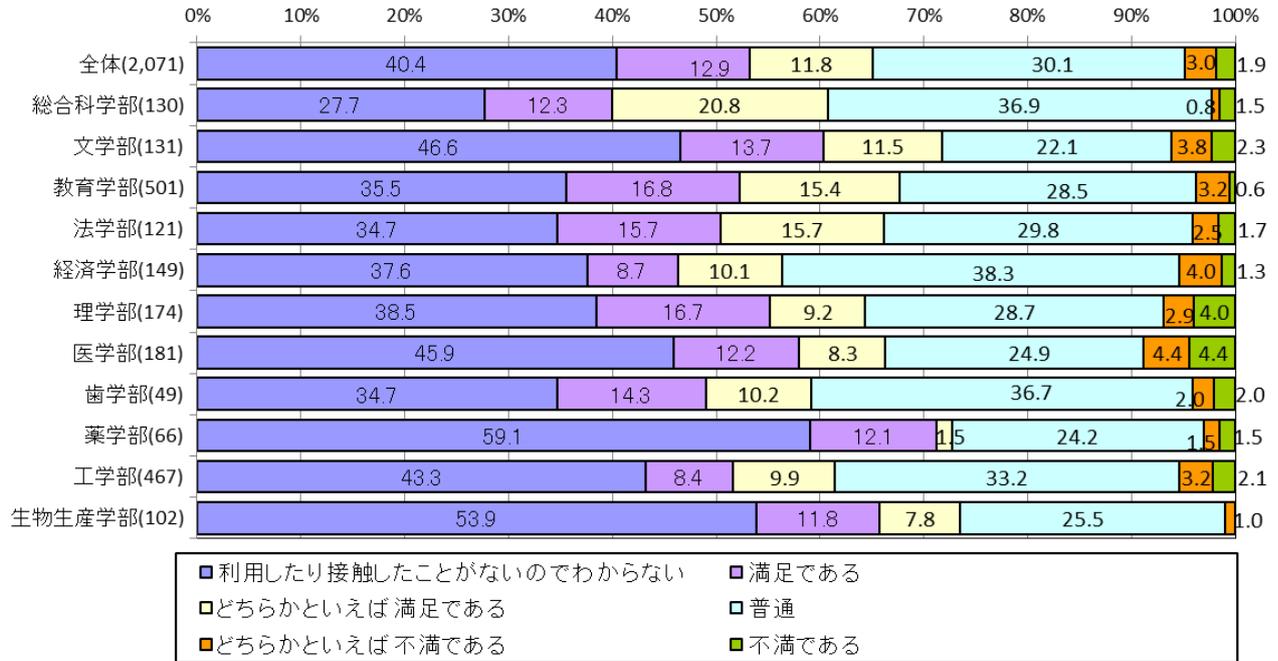


25 学生プラザの学生支援部門の対応

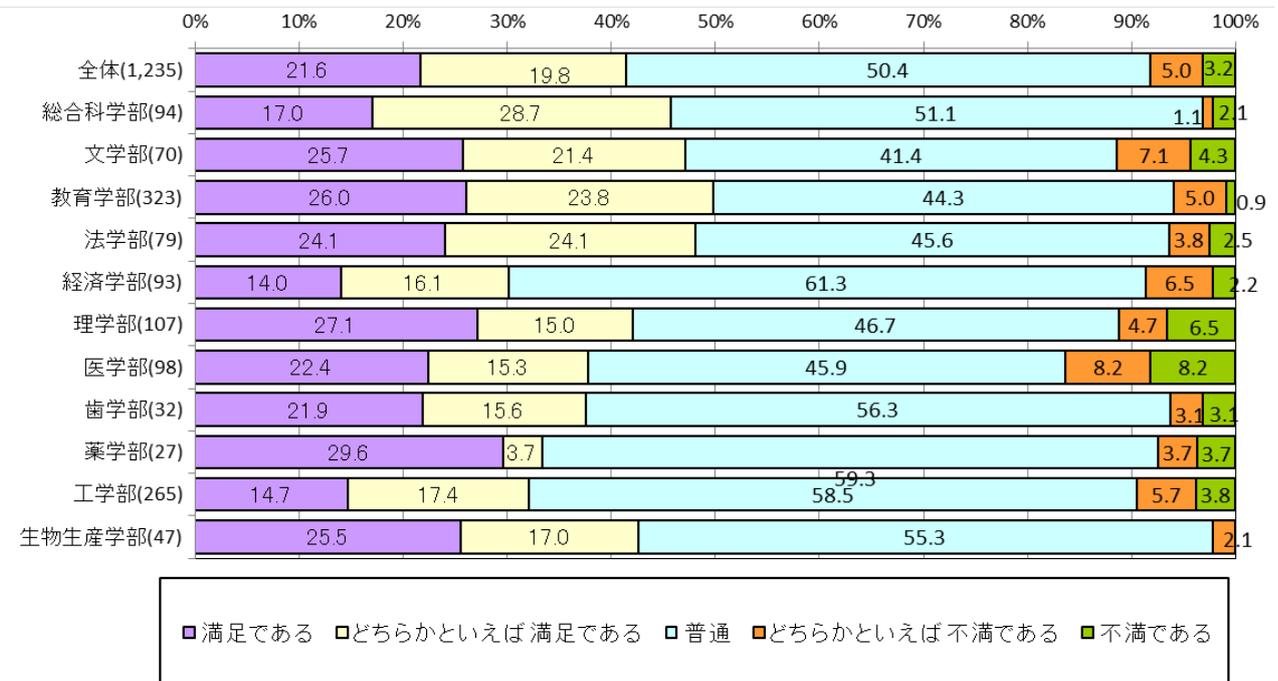
全体として60%程度が利用している(グラフ1)が、そのうち(グラフ2)「満足である」「どちらかといえば満足である」が41.4%であり「どちらかといえば不満」「不満である」は8.2%未満である。学部別(グラフ2)では「満足である」「どちらかといえば満足である」が約30%から約50%であり、「どちらかといえば不満」「不満である」は医学部が16.4%と若干多いが他の学部は11%以下である。

問38 学生プラザの学生支援部門の対応について、印象や満足度を教えてください。

* グラフ1 (利用したことがない者を含む)



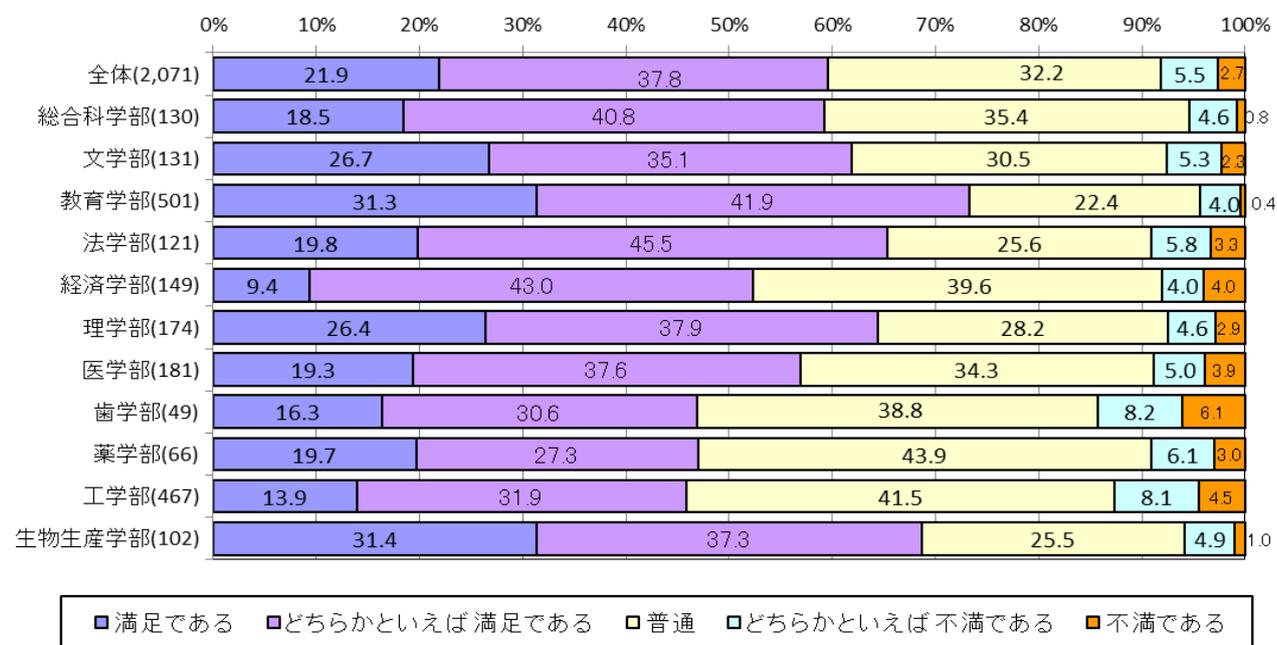
* グラフ2 (利用したことがある者のみ)



26 本学の教育・学習、学生生活などの全体的な満足度

本学全体に対する満足度としては、全体で 59.7%が「満足である」「どちらかといえば満足である」となっている。特に、教育学部と生物生産学部の満足度が高い。その反対に、霞地区にある学部は若干満足度が低い傾向にある。また、不満と思う学生は、全体として10%未満であり、総合的にみれば本学に対する満足度は高いとみられる。

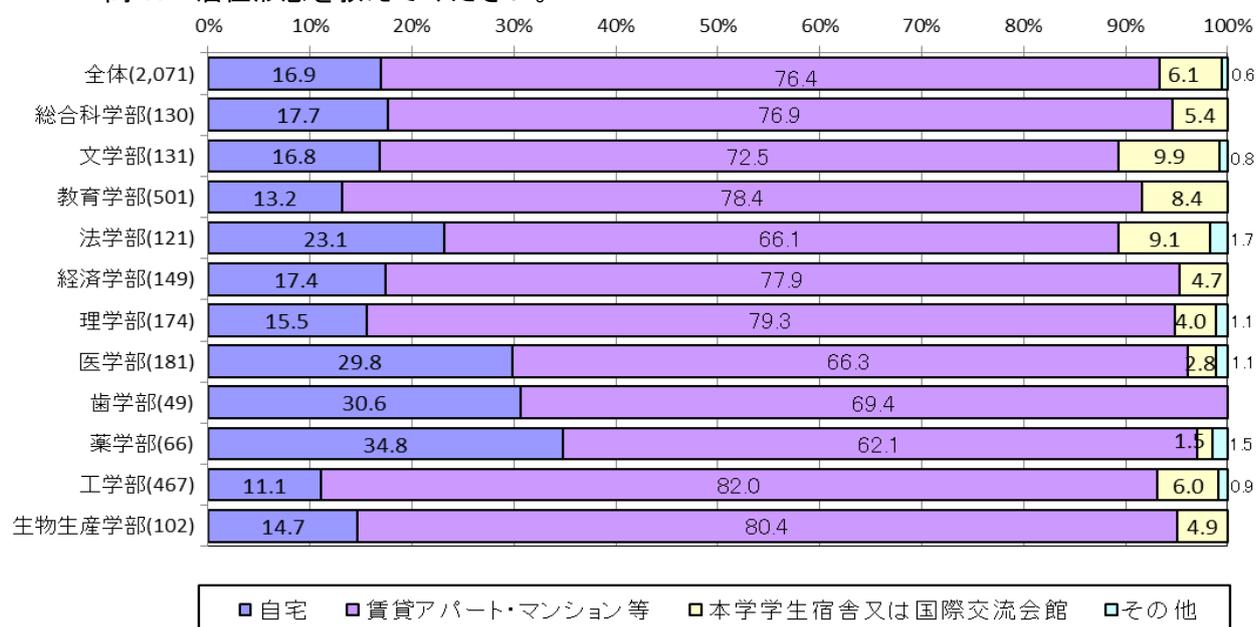
問 39 本学での教育・学習、学生生活などに関して、全体として「良い」、「楽しい」と感じるなど、満足していますか。



27 居住形態

本学は県外出身者が多いことから、居住形態についてもアパート・マンション等が多い。但し、霞キャンパスにある学部（医学部、歯学部、薬学部）は、東広島キャンパスの学部と比べて自宅から通学する学生が多い傾向にある。

問 40 居住形態を教えてください。



28 通学方法

通学方法としては、全体で71.8%が自転車を利用している。次いで、徒歩34.8%、原付・バイク20.6%、自動車13.2%となっている。なお、東広島キャンパスと霞キャンパスの学部ではキャンパス内の環境や市内公共交通機関等の環境が異なることもあり、原付・バイクや自動車の利用率は霞キャンパスの方が低い。

問41 通学方法を教えてください。(複数回答可)

